

平成27年度

教育委員会事務事業点検・評価報告書

(平成26年度分)

寒河江市教育委員会

目 次

I	寒河江市教育委員会事務事業の点検・評価について	1
1.	制度の概要及び目的	1
2.	点検・評価の対象事業	1
3.	点検・評価の方法	1
4.	学識経験者の知見の活用	1
II	教育委員会の活動状況	2
1.	教育委員会の開催	2
2.	教育委員会協議会の開催	4
3.	教育委員会会議以外の活動	4
III	施策の体系	6
IV	外部評価委員の意見	8
1.	総括	8
2.	施策ごとの意見	8
V	点検・評価対象事業一覧	14
	【点検・評価の結果（事務事業点検・評価調書）】	16

I 寒河江市教育委員会事務事業の点検・評価について

1. 制度の概要及び目的

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正（平成20年4月1日施行）され、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について自ら点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならないこととなりました。

また、この点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

この法律改正を受け、寒河江市教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民に対する説明責任を果たすため、平成21年度から、前年度に行った事務事業について3名の外部評価委員の方々の意見をいただきながら点検・評価を実施しております。

今年度は、平成26年度に行った事務事業について点検・評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

2. 点検・評価の対象事業

点検・評価は、平成26年度に実施した教育委員会所管の69事業のうち、事業規模及び市民への周知の必要性等を考慮して選定した主要な48事業を対象に実施しています。

また、平成23年度からスタートした新第5次寒河江市振興計画において、今後5年間重点的に取り組む施策として7つの「重点プロジェクト」が設定されておりますが、その中の『「さがえっこ」すくすくプロジェクト』において、教育委員会が所管する事業『「さがえっこ育みアクションプラン」の推進』についても昨年に引き続き取り上げることにしました。

3. 点検・評価の方法

点検・評価の対象とした48事業については、「必要性」、「効率性」及び「有効性」等の観点から総合評価したうえで、今後の方向性として、「拡充」、「継続」、「縮小」、「見直し」及び「休廃止」に区分して明らかにしました。そしてその内容は、事業ごとに「事務事業点検・評価調書」としてまとめております。

また、重点プロジェクトの事業については、関係する個別事業の評価を踏まえて、プロジェクトの着実な推進の観点から一定の評価を加えております。

4. 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った点検・評価についてその客観性を確保するため、3名の学識経験者を外部評価委員（寒河江市教育事務評価委員）として委嘱し、点検・評価の内容について意見をいただきました。

寒河江市教育事務評価委員

氏名	役職名等
真木吉雄	山形大学大学院教育実践研究科 教授
大泉静夫	有識者
武田静子	有識者

II 教育委員会の活動状況

1. 教育委員会の開催

開催日	区分	議案番号	件名
4月22日	定例	10	寒河江市いじめ防止基本方針について（継続審議）
5月27日	定例	(10)	寒河江市いじめ防止基本方針について（継続審議）
		11	平成26年度教育費補正予算案に対する意見の申出について
6月20日	定例	12	寒河江市社会教育委員の委嘱について
		13	寒河江市中央公民館運営審議会委員の委嘱について
		14	寒河江市図書館協議会委員の任命について
7月23日	定例	(10)	寒河江市いじめ防止基本方針について
		15	平成27年度使用教科用図書の採択について
		16	寒河江市スポーツ推進審議会委員の任命について
		17	教育財産の取得の申出について
8月26日	定例	18	教育委員会の事務事業(平成25年度分)の点検・評価について
		19	平成26年教育費補正予算案に対する意見の申出について
		20	寒河江市立小中学校通学区域に関する規則の一部改正について（追加）
9月25日	定例	21	寒河江市指定有形文化財の指定について

10月 1日	定例	22	寒河江市教育委員会委員長の選挙について
		23	全国学力・学習状況調査の結果と取扱いについて
11月20日	定例	24	西村山地区視聴覚教育協議会の廃止に対する意見の申出について
		25	平成26年度教育費補正予算案に対する意見の申出について
12月19日	定例	26	実施計画（平成27年度～平成29年度）について
2月19日	定例	1	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定に対する意見の申出について
		2	寒河江市教育委員会教育長の勤務時間、休暇等に関する条例の制定に対する意見の申出について
		3	寒河江市教育委員会教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の制定に対する意見の申出について
		4	寒河江市特別職に属する者の給与等に関する条例の一部改正に対する意見の申出について
		5	寒河江市長等及び一般職の職員の給与の特例に関する条例の一部改正に対する意見の申出について
		6	平成26年度教育費補正予算案に対する意見の申出について
		7	平成27年度教育費予算案に対する意見の申出について
3月5日	臨時	8	寒河江市教育委員会委員の辞職について
3月11日	臨時	9	平成27年度寒河江市立小中学校教職員人事異動内申について
3月24日	定例	10	公民館長の任命について
		11	寒河江市立図書館長の任命について
		12	寒河江市教育委員会公告式規則の一部改正について
		13	寒河江市教育委員会会議規則の全部改正について
		14	寒河江市教育委員会傍聴人規則の一部改正について
		15	寒河江市教育委員会の権限に属する事務の委任に関する規則の一部改正について

	16	寒河江市教育委員会教育長の営利企業等従事に関する規則の制定について
	17	寒河江市教育委員会事務局組織規則の全部改正について
	18	寒河江市教育委員会公印規程の一部改正について
	19	寒河江市教育委員会事務事業点検・評価実施要綱の一部改正について
	20	平成27年度寒河江市教育委員会所属職員の人事異動について

2. 教育委員会協議会の開催

開催回数 4月22日 ほか8回

協議案件

- ・通学区域の変更について
- ・寒河江市いじめ防止基本方針の経過について
- ・教育委員会事務事業点検・評価（平成25年度分）の内容について
- ・全国学力・学習状況調査の本市の状況について
- ・市長との懇談会について
- ・問題行動等調査結果について
- ・教育委員会制度改正について
- ・給食食材について
- ・平成27年度教育行政の一般方針について

など 計 9件

3. 教育委員会会議以外の活動

(1) 学校訪問

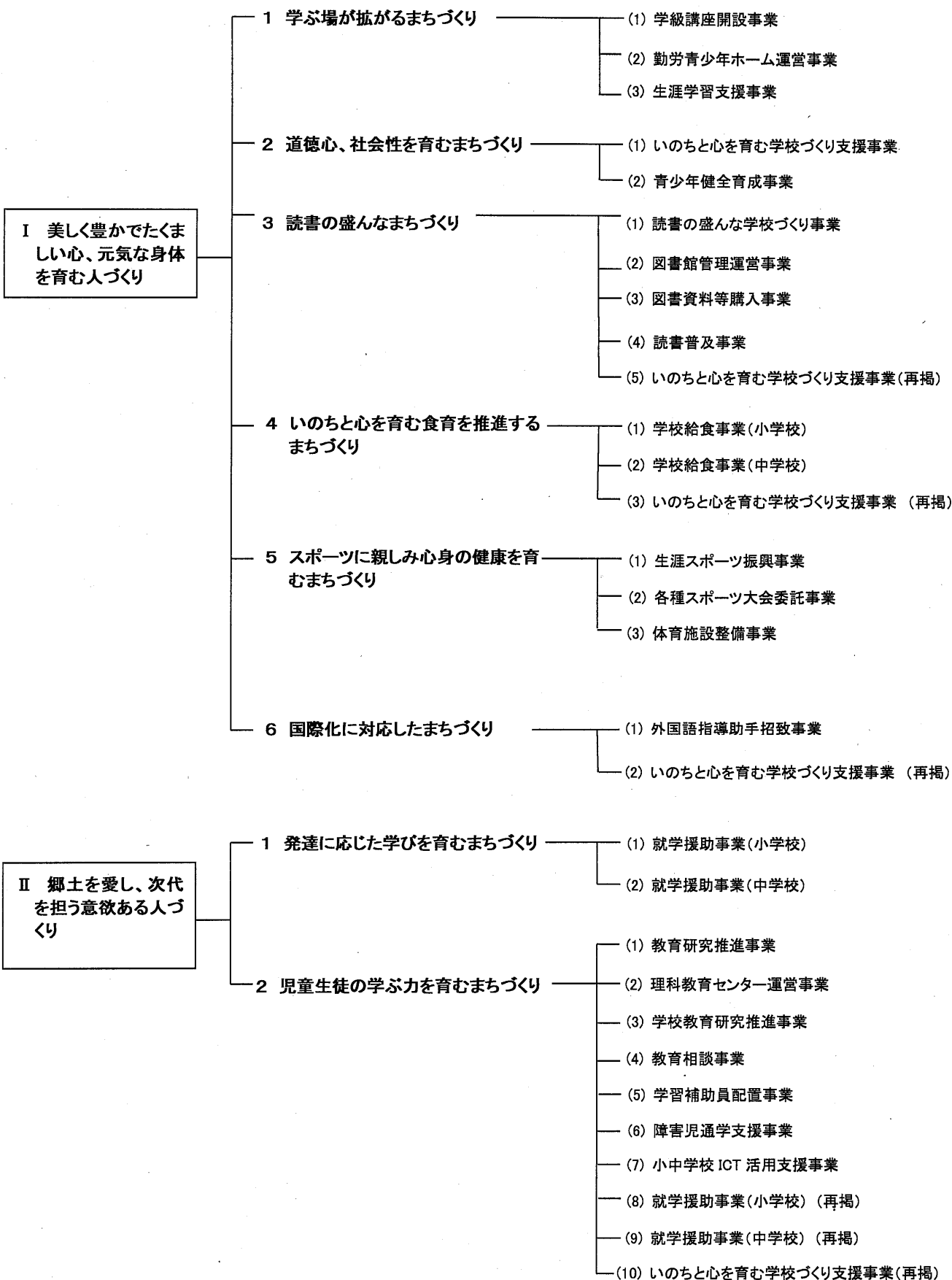
実施日	実施校	実施日	実施校
5月21日	陵西中学校	9月30日	三泉小学校
6月24日	柴橋小学校	10月7日	寒河江中部小学校
7月15日	醍醐小学校	11月11日	陵東中学校

(2) その他調査・研修活動

実施日	内 容
4月24日	教育委員と学校長の教育懇談会
5月14日	小学校陸上競技大会
6月 6日	山形県市町村教育委員会協議会定期総会・研修会（山形市）
7月 4日	西村山市町教育委員会連絡協議会総会及び教育委員研修会
8月 8日	山形県市町村教育委員大会（上山市）
9月25日	小中学校交歓音楽会
10月10日	公開授業研究（白岩小学校）
10月29日	市長と教育委員の懇談会

Ⅲ 施策の体系

寒河江市教育振興計画



Ⅲ 歴史と文化を活かし、新たな文化を育む人づくり

- 1 歴史と伝統文化を活かしたまちづくり
 - (1) 市史編纂事業
 - (2) 文化財保護庶務事業
 - (3) 埋蔵文化財調査事業
 - (4) 郷土館保存事業
 - (5) 歴史文化ふるさと回帰事業
 - (6) 慈恩寺国史跡指定総合調査事業
 - (7) いのちと心を育む学校づくり支援事業（再掲）
- 2 芸術文化に親しみ、創造の喜びを育むまちづくり
 - (1) 芸術文化振興事業
 - (2) 美術館運営事業

Ⅳ 地域主体の活動による心豊かな人づくり

- 1 生涯をととした学習活動が盛んなまちづくり
 - (1) 社会教育活動事業
 - (2) 公民館活動事業
 - (3) 放課後子ども教室推進事業
 - (4) 公民館整備事業
 - (5) 寒河江さくらんぼ大学推進事業
- 2 家庭の教育力を高めるまちづくり
 - (1) いのちと心を育む学校づくり支援事業（再掲）
 - (2) 社会教育活動事業（再掲）
- 3 地域に開かれた学校、学びを高め合うまちづくり
 - (1) さがえっこ育みアクションプラン推進事業
 - (2) いのちと心を育む学校づくり支援事業（再掲）

Ⅴ 開かれた教育行政の推進

- 1 教育行政に対する関心、意識の高揚
 - (1) 教育委員会事務局管理事業
- 2 教育環境の充実・整備
 - (1) 小学校管理事業
 - (2) 中学校管理事業
 - (3) 学校保健事業(小学校)
 - (4) 学校保健事業(中学校)
 - (5) 教育振興事業(小学校)
 - (6) 教育振興事業(中学校)
 - (7) 情報教育推進事業(小学校)
 - (8) 情報教育推進事業(中学校)
 - (9) スクールバス運行事業

IV 外部評価委員の意見

1 総括

- 「事業の実施状況」では、数値化できるところは数字で示されているなど、基礎的なデータが具体的かつ詳細に記載されています。そのため、前年度との対比などが容易で成果や課題が把握しやすい表記内容になっていると思います。特に、過去2～3年のデータが示されている事業については、経年変化がより理解しやすいものになっています。
- 「事業の評価」では、主に成果を中心に記載されていることから、事業の有効性を判断するのに適した表記になっています。反面、課題がある事業については、成果だけではなく、課題解決への方向性についての記載も必要と思います。
- 「今後の方向性」のうち「拡充」については、次年度の予算が示されており、事業に対する事務局の前向きな姿勢を読み取ることができます。単年度で成果が得られにくい事業でも、継続することで成果に繋がるものが少なくありません。特に重要な施策については予算の増加が求められるものもありますが、その場合、「今後の対応」の欄等により分かりやすく具体的に示すなどして、事業の重要性や必要性をきちんと理解してもらうように配慮する必要があります。
- 「さがえっこ育みアクションプラン」については、重点である「あいさつ」、「読書」、「生活リズム・食育」のいずれも、市民にとっては身近で理解の得られやすい項目であるだけに、市民運動としての盛り上がりを感じられるとともに、成果を上げていることは、高く評価することができます。学校・家庭・地域の連携を、自治体としてどう推進すべきかを示すモデル的事业であり、最終年度となる平成27年度には、他の市町村にも模範となるよう、さらなる取り組みの充実を図っていかれることを期待します。
- 「実施状況」「評価」「今後の対応」が具体的に説明されていて、外部からの評価がやりやすくなっています。
- 学級講座開設事業の「家庭教育講座」、社会教育活動事業の「やまがた子育て講座」など、子育てに関心の高い保護者にとって有意義な研修をこれからも継続してほしいと思います。すでに実施しているかもしれませんが、対象者が同じような場合は、違う事業でも研修内容予告などを早目にまとめて広報で知らせればより効果的だと思います。

2 施策ごとの意見

(1) 生涯学習の推進・充実

【学級講座開設事業】

- 成人講座をさくらんぼ大学に移行したことから、学級講座としての事業が整理されスリム化した感じがします。実施状況に中央公民館事業の表記がなくなってしまったため、中央公民館主催の講座があれば明記して欲しいと思います。少年少女合唱団活動のように、若い世代など各年齢層に応じた魅力ある事業が多く企画されるよう、担当者の研修等が充実することを期待します。
- 地域に密接な地区公民館活動は生涯学習にとって特に大切です。少年少女講座の子どもたちから高齢者教室のお年寄りまで興味を持ち意欲的に参加しているようです。体験活動などの内容をこれからも工夫されて継続してほしいです。
- 中央公民館・各地区公民館で、それぞれの年齢層に合わせた講座が開設されています。参加者は友人等で話し合いを楽しみながら「地域とつながりが持てた」と具体的な成果を上げています。

【勤労青少年ホーム運営事業】

- 屋内多目的運動場ができたことによりフットサル活動利用者が減少しましたがその分、新しいクラブ活動が利用しやすくなり、市内各クラブへの広報活動や地区公民館との連携により利用者を増やしてほしいと思います。

【生涯学習支援事業】

- 市民が“自主的に取り組む”学習講座は大変貴重であり、活動に役立つ情報提供など、これからも活動が広がるように支援してほしいと思います。
- 郷土に対する愛着・誇りを高めることで、寒河江が本当に好きで離れがたく守りたいという人を増やせます。そのためにも、市民の自主的な生涯学習活動に対して、今後も支援していただきたい。

【青少年健全育成事業】

- 補導件数が、過去三年間にわたって減少していることは、この事業の大きな成果といえます。危険ドラッグなど少年非行にかかわる問題が複雑化している状況の中で、今後も減少傾向が続くように事業が継続できるよう期待します。
- 昨年度課題とされた危険ドラッグ撲滅運動について、学習の機会を持ったことは良かったです。これからは、もうすでになされている学校での教育以外でのネット、ラインの危険性についての学習の場も必要になると思います。
- 青少年育成推進委員の皆さんの街頭指導や見守り等で犯罪件数が減っているとのことですが、地域住民へも周知し事業に対する理解を深めていただきたい。

【美術館運営事業】

- これまでの実績が美術館を市民にとっての憩いの場にしてきたといえます。特別企画展については、数カ年の中期計画を立てるなど計画的運営をすることで、年間入場者数の増加につながられるものと思います。
- 体験型の企画を多く取り入れることにより、より芸術に触れる、親しむことになります。子ども芸術展は家族そろって身近な“芸術”にふれ、語り合う大切な場になっていると思います。

【社会教育活動事業】

- 西村山視聴覚教育協議会から移管された教材・機材については、教材としての活用だけでなく、今後、それ自体に歴史的な価値が出てくることが予想されます。将来的には、県や他の視聴覚関連団体と連携して、保存することも視野に入れて検討して行くことは必要と思います。

- 「やまがた子育て講座」「幼児共育ふれあい広場」はともに昨年度より参加者が増えたのは、参加しやすいように考えられた成果だと思います。

【公民館活動事業】

- 公民館連携事業実施状況に載っていないなくても、高屋公民館の世代間グランドゴルフ大会のように、市から補助を受けずに地域に密着している分館活動もあります。これも、特色ある公民館活動をこれまで支援してきたことの成果とも考えられます。
- 地域の活性化に積極的な役割を担う人材を育てていくために、いろんな講座やイベントを実施しています。次は、地域住民同士の関係性をうまくつないで「この町に住んでいがあったな」と多くの人に言ってもらえるところまで辿り着いていただきたい。

【放課後子ども教室推進事業】

- 小学生に年齢の近い中学生をボランティアスタッフに加えるという取り組みは、小学生のみならず、中学生にとっても異年齢の子どもと関わる貴重な体験の場となります。この取り組みを継続することで、希望する中学生の増加が期待されます。
- 学校では得ることのできない貴重な体験ができるこの事業に、中学生ボランティアスタッフを活用することは、中学生本人のためにもいいことです。ただし、安全面など、これまで以上の配慮が必要になってきます。
- 学区ごとの小学生を対象とした事業は、心地よいと思える居場所づくりを推進することです。地域の人との出会い、また、子ども同士の交流などで貴重な体験や経験ができます。スタッフに中学生、高校生がボランティアとして参加してくれ「やってみよう！」「楽しそう！」と活動の輪が広がっているようです。

【公民館整備事業】

- 高齢者や体の不自由な人のためのバリアフリーや洋式便器への対応や少人数分館への助成など、今行われている配慮は大切なことです。

【寒河江さくらんぼ大学推進事業】

- キャンパス制度による公民館活動事業は、大変ユニークな取り組みと言えます。受講生による企画検討会の実施も、受益者を主体とする面から有意義であり、ぜひ継続していきたい内容です。冬期間や勤務終了後の開催などを考慮すれば、若い世代の参加も増えるものと思います。
- 各キャンパスへの参加者が、市外を含め地域を越えていることにこの事業の成果がみられます。受講生による運営委員会により、人と人とのつながりがこれまでより一歩進んだ生き生きとした講座になることを期待しています。
- 公民館単位で実施してきた成人講座がキャンパス制（7学部）として初めて実施されました。受講生が選ぶ市民講座なので自分の時間に合う魅力ある講座を選択できることは大変良いと思います。多くの市民を楽しませてくれたと思う。また、「交流の場」としてキャンパスカフェを実施しております。参加し、みんなで交流したいという雰囲気を醸し出す仕組みを検討することが必要です。
運営委員会を立ち上げ、新しい発想を持った方たちが地域に合ったワクワクする講座にしたのは素晴らしいです。

(2) 読書活動の推進・充実

【読書の盛んな学校づくり事業】

- 国語科の授業充実のために、読書活動推進員と国語科の授業の関わり合いが深くな

りますが、各校の担当の先生方との連携を大切にして、これからも継続してほしいです。

- 読書好きな子どもを育成するには学校図書館に専門性を持った司書がいることが望ましいと思います。読書活動推進員の配置は子どもの創造性の発揮を促すのに役立ち、読書環境を後押しする効果があります。本のエキスパートである推進員さんは学校の先生方と密接に連携し、発達の段階に応じた読書活動が展開されることを期待します。

【読書普及事業】

- 自主事業の「上橋菜穂子氏読書講演会」や「和合亮一氏詩の礫朗読会」など新たな事業を実施したことはもとより、それらが好評だったことなどについては、自信を持ってアピールされて良いのではないのでしょうか。その年度の特徴を示すようにすれば、事業の評価や今後の対応の表記が前年度と異なるものになると思います。
- 本離れが心配される中、工夫された各事業は充実していて、図書館に親しむ子どもたちが増えていると思います。自主事業で、タイムリーで著名な講師を選んだ事務局の手腕もすばらしいです。
- 図書館には好奇心と探求心を満たしてくれる出会いが待っています。自然に人が集まります。乳幼児から高齢者まで気軽に利用できる施設です。その機能を大いに発揮するため図書館員には、単に本と人との仲介役としてだけでなく、「本を楽しむ場」を提案・提供していただきたい。そのためには利用者一人ひとりの思いを知り、それに対応していくことで図書館像が見えてくるのではないのでしょうか。

(3) 生涯スポーツの推進・充実

【生涯スポーツ振興事業】

- 他市にはあまりない多目的水面広場や屋内多目的運動場の活用に、特に力を入れてほしいと思います。

(4) 特色ある学校づくりの推進・充実

【さがえっこ育みアクションプラン推進事業】

- 地域に開かれた学校づくりはいずれの学校においても喫緊の課題ですが、教職員の取り組みに加えて、地域住民の協力が不可欠です。ボランティアで学校にかかわってくれる地域住民が増えることで本プランの推進がさらに図られることに繋がります。
- 学校支援ボランティア活動は重要です。その活動を円滑に、効果的に進めるためには、コーディネーターは全部の学校に配置されることが望ましいと思います。
- 小中連携より難しいと思われませんが、重要になっている幼・保・小連携での幼・保・小の先生方の研修の場、交流の場を増やしていくことが必要だと思います。

【いのちと心を育む学校づくり支援事業】

- 地域の実態に応じた特色ある教育活動は、子どもたちの「母校」「ふるさと」の誇りにつながる大切なものだと思います。小規模校には特に、これからも力を入れて推進してほしいです。

(5) 児童生徒の学ぶ力の育成

【教育研究推進事業】

- Q-Uアンケート調査は、学級経営上の基礎資料となる重要なものとして、多くの

学校で活用されています。来年度から県予算がなくなる予定ですが、崩壊等を起こさない学級づくりやいじめ防止などに向けて、今後とも継続してQ-Uアンケート等を通じた授業改善に取り組まれることを期待します。

【理科教育センター運営事業】

- 小学校教員には、理科の教育を苦手とする教員が少なくありません。それだけに、理科教育センターの役割は重要になっています。学力・学習状況調査の結果を基にすることは大切ですが、結果の良し悪しにかかわらず、理科教育センターの役割を再認識するとともに、充実した取り組みがなされるよう期待します。

【学校教育研究推進事業】

- 忙しさの中から、なかなか他校の研究にふれることの少ない先生方にとって、研究委嘱校の研究にふれて研修を深める機会はとても大切です。
- 市内の校種の異なる先生方全員が、互いに授業を見せ合いながら一緒に研修を行うことは先生方の指導にとっても役立っていると思います。

【外国語指導助手招致事業】

- 小学校の外国語活動を充実させるためにも、研究会など今まで以上にALTの小学校での授業以外での活用も重要になります。また、平成25年度に実施したように、幼稚園、保育所での活動も有意義だと思えます。

【学習補助員配置事業】

- 発達障害の児童生徒が在籍する学級担任への負担を軽減させるためにも、一人でも多くの補助員が配置され、学級担任が安心して授業に取り組めるよう、より充実した教育環境の整備を望みます。

【小学校ICT活用支援事業】

- 日頃からパソコンに慣れ親しんでいる今の子どもたちの“感性”“感じ方”に合った教材の研究、教育機器の活用についてICT活用支援は欠かせないので、1名では足りなくなっているのかと思います。

【学校給食事業】

- 食育、地産地消はこれからも重要です。アレルギーを持つ子どもへの保護者との連携を密にした対応や、衛生、安全管理のための異物混入などの食材のチェックなどはこれからも大切です。

(6) 文化財の保存・活用の充実

【市史編纂事業】

- これまでの地道な取り組みが積み上げられて、寒河江市の歴史文化の解明に繋がっているとと言えます。少なくとも現体制を維持し、新たな資料発掘や保存活用上支障が生じることのないよう配慮する必要があります。
- 自分の住んでいる地域の歴史を知ることがふるさとへの愛、誇りに繋がると思えます。調査研究内容によっては、できるだけ子どもにもわかるような研究成果の公表もあればと思います。

【慈恩寺国史跡指定総合調査事業】

- 国史跡指定で盛り上がっている市民の熱い流れに乗って、「寒河江の慈恩寺」から「日本、東北の慈恩寺」になるように、慈恩寺「悠久の魅力」向上基本計画事業の遂行に期待しています。

- 「慈恩寺旧境内」が晴れて国史跡指定となりました。慈恩寺に関する事業に多くの市民が参加されたことは関心度が高いということで改めて慈恩寺の価値を再確認したのではないのでしょうか。今後は全国で慈恩寺、「最近話題だね!」「行ってみたい!」と語られるよう、どう仕掛けていくかが課題であると思います。(ニュースに取り上げたくなる「個性ある取組」の発信)

(7) 教育行政に対する関心・意欲の高揚

【教育委員会事務局管理事業】

- 新たな教育委員会制度への移行を機に、7年目となった事務事業の点検・評価の在り方についても創意工夫を行うなどの再検討を行い、市民に開かれた無理無駄のない事務事業が施行されるよう期待します。

(8) 教育環境の充実

【小中学校管理事業】

- 児童生徒用机のA版化への更新完了はとても評価できます。次はトイレの洋式化についてもできるだけ早くお願いしたいと思います。

【情報教育推進事業(小学校)・同(中学校)】

- 電子黒板の各校各階への設置は、授業方法の充実化を図る上で斬新的な事業といえます。活用実態を把握しながら、多くの教師にとってより活用しやすくなるよう、授業改善に向けた研修の充実などもアフターケアとして大切なことと思います。

V 点検・評価対象事業一覧

施策の区分	事業名	担当課	施策体系	頁
① 生涯学習の推進・充実	学級講座開設事業	生涯学習課	I-1-(1)	16
	勤労青少年ホーム運営事業	生涯学習課	I-1-(2)	17
	生涯学習支援事業	生涯学習課	I-1-(3)	18
	青少年健全育成事業	生涯学習課	I-2-(2)	19
	芸術文化振興事業	生涯学習課	III-2-(1)	20
	美術館運営事業	生涯学習課	III-2-(2)	21
	社会教育活動事業	生涯学習課	IV-1-(1) IV-2-(2)	22
	公民館活動事業	生涯学習課	IV-1-(2)	23
	放課後子ども教室推進事業	生涯学習課	IV-1-(3)	24
	公民館整備事業	生涯学習課	IV-1-(4)	25
	寒河江さくらんぼ大学推進事業	生涯学習課	IV-1-(5)	26
② 読書活動の推進・充実	読書の盛んな学校づくり事業	学校教育課	I-3-(1)	27
	図書館管理運営事業	生涯学習課	I-3-(2)	28
	図書資料等購入事業	生涯学習課	I-3-(3)	29
	読書普及事業	生涯学習課	I-3-(4)	30
③ 生涯スポーツの推進・充実	生涯スポーツ振興事業	生涯学習課	I-5-(1)	31
	各種スポーツ大会委託事業	生涯学習課	I-5-(2)	32
	体育施設整備事業	生涯学習課	I-5-(3)	33
④ 特色ある学校づくりの推進・充実	さがえっこ育みアクションプラン推進事業	学校教育課	IV-3-(1)	34
	いのちと心を育む学校づくり支援事業	学校教育課	I-2-(1) I-3-(5) I-4-(3) I-6-(2) II-2-(10) III-1-(8) IV-2-(1) IV-3-(2)	35
⑤ 児童生徒の学ぶ力の育成	教育研究推進事業	学校教育課	II-2-(1)	36
	理科教育センター運営事業	学校教育課	II-2-(2)	37
	学校教育研究推進事業	学校教育課	II-2-(3)	38
	外国語指導助手招致事業	学校教育課	I-6-(1)	39
	教育相談事業	学校教育課	II-2-(4)	40
	学習補助員配置事業	学校教育課	II-2-(5)	41
	障害児通学支援事業	学校教育課	II-2-(6)	42

⑤ 児童生徒の学ぶ力の育成	小中学校 I C T活用支援事業	学校教育課	Ⅱ-2-(7)	43
	就学援助事業 (小学校)	学校教育課	Ⅱ-1-(1) Ⅱ-2-(8)	44
	就学援助事業 (中学校)	学校教育課	Ⅱ-1-(2) Ⅱ-2-(9)	45
	学校給食事業 (小学校)	学校教育課	I-4-(1)	46
	学校給食事業 (中学校)	学校教育課	I-4-(2)	47
⑥ 文化財の保存・活用の充実	市史編纂事業	生涯学習課	Ⅲ-1-(1)	48
	文化財保護庶務事業	生涯学習課	Ⅲ-1-(2)	49
	埋蔵文化財調査事業	生涯学習課	Ⅲ-1-(3)	50
	郷土館保存事業	生涯学習課	Ⅲ-1-(4)	51
	歴史文化ふるさと回帰事業	生涯学習課	Ⅲ-1-(5)	52
	慈恩寺国史跡指定総合調査事業	生涯学習課	Ⅲ-1-(7)	53
⑦ 教育行政に対する関心・意識の高揚	教育委員会事務局管理事業	学校教育課	V-1-(1)	54
⑧ 教育環境の充実	小学校管理事業	学校教育課	V-2-(1)	55
	中学校管理事業	学校教育課	V-2-(2)	56
	学校保健事業 (小学校)	学校教育課	V-2-(3)	57
	学校保健事業 (中学校)	学校教育課	V-2-(4)	58
	教育振興事業 (小学校)	学校教育課	V-2-(5)	59
	教育振興事業 (中学校)	学校教育課	V-2-(6)	60
	情報教育推進事業 (小学校)	学校教育課	V-2-(7)	61
	情報教育推進事業 (中学校)	学校教育課	V-2-(8)	62
	スクールバス運行事業	学校教育課	V-2-(9)	63

重点プロジェクト事業

プロジェクト名	事業名	事業の主たる担当課	頁
「さがえっこ」すくすくプロジェクト	「さがえっこ育みアクションプラン」の推進	学校教育課	64

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学級講座開設事業	所管課・係	生涯学習課 中央公民館
施策体系 教育振興計画	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり	予算科目	10 教育費
	1 学ぶ場が広がるまちづくり		4 社会教育費
			4 公民館費

2. 事業の概要

事業目的	それぞれの公民館において、市民の実生活に即した学びや学術及び文化に関する各種の講座等を実施し、皆が元気な地域づくり、まちづくりに資する。
事業内容	年代ごとの学習要求と課題に対応した各種学級や講座を開設する。

3. 予算額・決算額

当初予算額	1,538	補正額等		合計	1,538	決算額	1,068
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

(単位:千円 千円未満切上げ)

4. 事業の実施状況

(1) 少年少女講座	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東部地区公民館 おもしろ発見隊 4～6年生、夏季2回、冬季4回開催、科学実験、カヌー体験、キャンドル作り、恵方巻き作りスノーシュー(西洋かんじき)体験、コーディネーション(素早い行動)トレーニング 延べ40名参加 ・ 柴橋地区公民館 柴っ子アドベンチャー倶楽部 小学校3～6年生、8月～12月 3回開催、カヌー体験、移動体験学習、門松づくり 延べ30名参加 		
(2) 高齢者教室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東部寒河江地区 視察研修 1回 20名参加 ・ 東部西根地区 若返りの泉 5回 延べ262名参加 ・ 東部三泉地区 泉塾 5回 延べ200名参加 ・ 南部地区 高齢者教室 6回 延べ177名参加 ・ 柴橋地区 高齢者セミナー 3回 延べ85名参加 ・ 高松地区 高齢者教室 3回 延べ300名参加 ・ 醍醐地区 いきがい老人大学 3回 延べ90名参加 ・ 白岩地区 高齢者教室 3回 延べ200名参加 		
(3) 女性教養講座	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南部地区若妻の集い 1回 23名参加 ・ 柴橋地区金谷エプロンスクール 5回 延べ150名参加 ・ 高松地区婦人学級 3回 延べ150名参加 ・ 白岩地区婦人学級 基本コース 5回 延べ155名参加 同 生花コース 6回 延べ102名参加 		
(4) 家庭教育講座	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園や保育所、保育園と連携し、家庭の教育力の充実に向けて、親のための子育て講座を開催 東部地区 6回 延べ980名参加 柴橋地区 2回 延べ80名参加 高松地区 3回 延べ220名参加 白岩地区 2回 延べ158名参加 		
(5) 少年少女合唱団活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小・中・高校生団員19名、毎週土曜日練習、各種演奏会出演、定期演奏会開催 		

5. 事業の評価

<p>少年少女講座は体験活動を多く取り入れ、工夫を凝らした講座を実施した。地域の高齢者及び女性団体の学習活動を継続して支援したほか、幼稚園や保育所などと連携し、小さい子どもを健やかに育てるための家庭教育講座を各地区で実施した。(各公民館で実施してきた成人講座は「寒河江さくらんぼ大学」に改めた。)また、少年少女合唱団は毎週練習を行い、質の高い演奏会を披露した。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>故郷を大切に思う心を育むために、地域とふれあい、様々な体験を取り入れた青少年教育を継続実施するとともに、子育て世帯や女性団体、高齢者など、新たな団体の育成も含めた幅広い世代の学習活動を、引き続き支援していく。市内外で美しい歌声を披露し活躍している少年少女合唱団を今後も育成していく。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	勤労青少年ホーム運営事業	所管課・係	生涯学習課 中央公民館
施策体系	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり	予算科目	10 教育費
教育振興計画	1 学ぶ場が広がるまちづくり	項	4 社会教育費
		目	3 芸術文化振興費

2. 事業の概要

事業目的	勤労青少年が余暇を利用してスポーツやレクリエーション活動に親しむ場の提供と、文化教養などの講座を開設することにより、勤労青少年の健全な育成と福祉の増進を図る。
事業内容	(1) 教養講座として、生花講座(月曜コース・水曜コース)の継続開催 (2) 料理教室の継続(前期・後期)開催 (3) 会員によるクラブ活動及び一般利用者による各種活動充実のための環境整備

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	189	補正額等		合計	189	決算額	189
-------	-----	------	--	----	-----	-----	-----

4. 事業の実施状況

<p>(1) 講座・教室別利用状況</p> <p>① 生花教室(2コース)の開催 開催数…計87回(月曜41回 水曜46回) 参加者延べ569名 料理教室の開催 開催数…12回(前期6回 後期6回) 参加者延べ99名</p> <p>② クラブ活動利用状況 登録人数88名(男55人 女33人) 利用人数 1,942人 ・バスケットボール 79回 721人 ・フットサル 67回 523人 ・ソフトバレーボール 42回 403人 ・バンド 105回 295人</p> <p>③ 一般利用状況 使用回数 749回 利用人数 13,585人</p> <p>(2) 料理教室等の実施に伴い、コンロや土鍋などの調理器具を揃えた。</p>

5. 事業の評価

<p>継続事業であるが、受講生も定着してきている。生花教室・料理教室については、季節にあった内容の選定と、無理なく参加できる日程の設定等、受講しやすいように工夫している。また、団体登録を受けた利用者(スポーツ・バンド等のクラブ活動)についても、ソフトバレーボール等を通して女性の利用も増えており、幅広い層の勤労青少年の生きがいづくりと、集いの場の提供を図ることができた。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>勤労青年福祉法に基づき、勤労者の余暇活用と意欲向上のために、社会人としての教養や知識を身につけたり、体力づくりを行う場の提供を、今後も継続していく必要がある。今後は、新たなクラブ・教室の利用希望も募りながら、一層の利用拡大に努めたい。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	生涯学習支援事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系 教育振興 計画	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり	予算科目	10 教育費
	1 学ぶ場が広がるまちづくり		4 社会教育費
			10 生涯学習推進費

2. 事業の概要

事業目的	市民の自主的な生涯学習活動に対し、活動を支援することで市民の学習意欲の向上を図る。
事業内容	各種団体・企業等が自主的に実施する学習会や講座において、優れた技術識見を有する講師の招聘等、費用の一部を助成する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	800	補正額等		合計	800	決算額	575
-------	-----	------	--	----	-----	-----	-----

4. 事業の実施状況

様々な分野における生涯学習講座を実施した36団体に対して、1講座2万円を限度として支援を行った。 (1) 事案件数:36件 参加者:延べ2,639名 (2) 主な支援事業 ① 寒河江市植物愛好会「会員研修会」 24名参加 ② 三泉地区婦人会「婦人会研修」 30名参加 ③ 中部小学校PTA「PTA研修会」 200名参加 ④ 陵南中学校PTA「PTA研修会」 900名参加 ⑤ 柴橋区「柴橋区民謡会」 129名参加 ⑥ 西根小学校PTA「PTA研修会」 450名参加 ⑦ 幸生さわやかクラブ65「健康教室」 43名参加

5. 事業の評価

各種団体の自主的な生涯学習に関する講座等を支援することにより、市民の学習意欲が向上し、生涯学習の振興が図られた。
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	市民の多様化する学習ニーズの把握に努め、市民の自主的な学習活動が広がるように努めていきたい。また、本事業を活用してもらうために、より一層のPRを図っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	青少年健全育成事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系 教育振興計画	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり 2 道徳心、社会性を育むまちづくり	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 7 青少年育成センター費

2. 事業の概要

事業目的	市青少年育成センターを中心に、関係団体と一体となって街頭指導や店舗等への巡回指導を実施し、青少年の健全育成を図る。
事業内容	青少年教育関係諸団体と連携を図りながら、市青少年育成センターによる街頭指導や環境浄化活動等を行う。また、青少年育成推進員を委嘱して、青少年の健全育成と非行防止を図りながら、地域における運動を推進する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	500	補正額等		合計	500	決算額	464
-------	-----	------	--	----	-----	-----	-----

4. 事業の実施状況

<p>市青少年育成センターでは、民生児童委員及び主任児童委員による年間20回の夕刻街頭指導及び青少年育成推進員による年間11回の夜間街頭指導を実施した。</p> <p>催事や夏休み期間を重点に、市内の繁華街やゲーム店、書籍店(ビデオ店やアダルトグッズ等の専門店)などを巡回し、青少年の戸外における生活実態の把握や声掛け運動及び有害図書や自販機の点検等を行った。</p> <p>また、最近問題になっている危険ドラッグについて撲滅運動の啓発を図るため、青少年育成推進員が、成人式において薬物禁止のチラシ配布を行ったり、青少年健全育成研修会では、自らの薬物中毒の経験をもとにした杉山裕太郎氏の講演を行った。</p>
--

5. 事業の評価

<p>地域の防犯協会や子ども見守り隊の活動と連携し、青少年を犯罪から守る活動に取り組んだことや、民生児童委員等による夕刻街頭指導及び青少年育成推進員による夜間街頭指導の地道な活動を実施することにより、寒河江警察署管内においては、青少年補導件数の減少に繋がっている。(70件から64件前年比6件減)</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	市青少年育成センターを中心に、青少年教育関係諸団体との連携を図りながら市内の夕刻・夜間街頭指導を継続していくとともに、山形市などの関係団体とも連携を図り、市外の巡回指導へも参加していく。また、最近問題になっている危険ドラッグやインターネット関連の非行防止にも取り組んでいく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	芸術文化振興事業	所管課・係	生涯学習課 文化センター事業管理係
施策体系 教育振興計 画	Ⅲ 歴史と文化を活かし、新たな文化を育む人づくり	予算科目	10 教育費
	2 芸術文化に親しみ、創造の喜びを育むまちづくり		4 社会教育費
			3 芸術文化振興費

2. 事業の概要

事業目的	優れた芸術文化に触れ、鑑賞する機会を持つことにより、市民の芸術文化に対する資質向上を目指す。
事業内容	市民の芸術文化活動への支援を行うとともに、市民文化会館の有効活用を図りながら幅広いジャンルの事業を展開し、優れた芸術文化の鑑賞機会を提供する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	11,246	補正額等		合計	11,246	決算額	10,531
-------	--------	------	--	----	--------	-----	--------

4. 事業の実施状況

(1) 市民文化会館自主事業の拡充			
① 加藤登紀子コンサート	6月7日(土)	入場者800名	
② 悠久の里慈恩寺コンサート 鼓童「ゆき逢ひ」	8月30日(土)	入場者600名	
③ 宝くじ文化公演「きらめく星座」	10月22日(木)	入場者630名	
④ 幼児演劇教室オペレッタ「金剛山のトラたいじ他」	10月17日(土)	入場者800名(幼稚園、保育園4・5歳児)	
(2) 実行委員会等市民文化団体への支援			
① 第46回市総合文化祭 市芸文協主催	10月24日(土)～11月 3日(火)	参加団体41団体	
② 県美展寒河江移動展 実行委員会主催	10月 1日(水)～10月6日(月)	入場者708名	
③ 第17回寒河江市音楽祭「春を呼ぶコンサート」 実行委員会主催	3月15日(日)	入場者850名	
(3) 芸術文化団体の全国大会出場に対する助成			
① 国民文化祭あきた2014「全国吟詠剣詩舞道祭」(秋田県)	10月26日(日)	寒河江吟友会28名	
② 第14回マーチング全国大会(神奈川県)	2月14日(土)	J-SNIper41名	
(4) 山形交響楽団に対する支援			
(5) 舞台づくり支援事業 (演劇や音楽などの振興を推進するため、地区内高校や社会教育関係団体に支援)			
① 演奏力等向上支援事業 高校4回 社会教育団体6回 ② 発表会活動支援事業 高校2回 社会教育団体4回			

5. 事業の評価

<p>当年度は、特に、市制施行60周年及び市民文化会館開館40周年の年であり、ふさわしい事業を選定した。目玉の「加藤登紀子コンサート」では、寒河江市特産の「バラ」と「さくらんぼ」を大いに紹介いただき、また、こまつ座「きらめく星座」では、戦後の立ち上がりを顧みる内容で、いずれも相当の入場を得ることが出来た。さらに、第三回目となる「慈恩寺コンサート」では国史跡指定の決定を飾るべく、太鼓芸能を選定し満席の入場を得て、地元の文化財を大いにPRすることができた。地元組織や協力員から協力を得る実行委員会形式での開催も定着してきており、今後にもつながるものである。また当年度は、詩吟の「寒河江吟友会」とマーチングバンドの「J-SNIper」が全国大会に出場し、出場に際し支援している。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>当年度、節目の年として実施した事業の結果を基に、アンケートで希望の寄せられたものや、文化的要素の高いものを事業選定し実施していきたい。また、地元の芸術文化協議会で開催する「市総合文化祭」等をはじめとする、各種文化団体の支援についても引き続き力を入れていき、多くの市民が芸術文化に関わることのできる環境を整備していきたい。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	美術館運営事業	所管課・係	生涯学習課 文化センター事業管理係
施策体系 教育振興計 画	Ⅲ 歴史と文化を活かし、新たな文化を育む人づくり 2 芸術文化に親しみ、創造の喜びを育むまちづくり	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 3 芸術文化振興費

2. 事業の概要

事業目的	優れた美術作品の鑑賞機会を提供し、美術館を通して中心市街地の活性化を図るとともに、市民の芸術文化に対する関心と豊かな心を養い、寒河江のまちの品格を高める。
事業内容	運営にあたり専門員1名を生涯学習課に配置し、常設展示のほか、「市民ギャラリー」として特別企画展を含む数々の展示を行った。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	8,414	補正額等		合計	8,414	決算額	8,118
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>特別企画展実施状況</p> <p>① 「真木正美日本画展」(7月) 来館者 378名 ② アートツリーやまがたvol.3 (12・1月) 来館者 211名 ③ 林由紀子 人形展 (3月) 来館者 851名</p> <p>ほかにも、「市美術館 これまでこれから展」、「西村山郡若手作家展 黒田共展」、「同 渡辺沙月展」、「同 大沼洋美展」、「四大陸ウォークinさがえ」、「寒河江市所蔵絵画コレクション」、「慈恩寺スケッチコンクール」「子ども芸術展」などを開催した。</p> <p>※収蔵棚・展示台等の購入により、収蔵スペースの確保や展示の幅が広がった。年間入館者数9,691名。</p>

5. 事業の評価

<p>「真木正美日本画展」など、レベルの高い郷土作家の作品展を実施したほか、郷土作家による、紙粘土でつくった作品展・林由紀子人形展では、多くの来館者が訪れた。また、小中学生の展覧会入賞作品などを展示した「子ども芸術展」では、家族で訪れる姿もあり、賑わいをみせた。若手作家を育てるための企画展では、ギャラリートークやワークショップ(体験講座)を多く設定し、作品を楽しむ機会を提供できるよう心がけた。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止
今後の対応	市美術館に気軽に足を運べるよう、「子どもの作品展」など幅広い世代が親しめる身近な展示会のほか、寒河江さくらんぼ大学の作品展など、公民館事業と連携した企画を実施していく。若手作家企画展では、ワークショップなど体験型の企画をより多く取り入れ、新しい芸術の楽しみ方を提供していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	社会教育活動事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系	IV 地域主体の活動による心豊かな人づくり	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 1 社会教育総務費
教育振興計画	1 生涯をととした学習活動が盛んなまちづくり 2 家庭の教育力を高めるまちづくり		

2. 事業の概要

事業目的	各種団体及び各種事業への補助等により活動を積極的に支援し、地域の人々の社会教育活動の活性化を図る。
事業内容	西村山地区視聴覚教育協議会への負担金をはじめ、社会教育団体活動、家庭教育事業への支援を行う。 また、新成人が実行委員会を組織し、自分たちで成人式を運営することへのサポートを行い、仲間との連携協働の大切さを感じてもらう。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	3,445	補正額等		合計	3,445	決算額	3,156
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>(1) 成人式の実施(8月14日 新成人が実行委員会を組織し式典運営 参加者:360名/471名)</p> <p>(2) 家庭教育推進事業として「やまがた子育て講座」を実施(市内各小中学校で実施 11小中学校 参加者:1,096名) 「幼児共育ふれあい広場」を実施(市内各保育所等で実施 7保育所等 参加者400名)</p> <p>(3) 西村山地区視聴覚教育協議会については、教材・機材の貸出し等を行ったが、今年度末で廃止となった。</p> <p>(4) 青少年育成市民会議、公民館連絡協議会、子ども会育成連合会への事業費助成等の支援及び高校生ボランティアへの育成支援を行った。</p>

5. 事業の評価

<p>成人式は、新成人による実行委員により企画・運営され、式典は厳粛のうちに挙行された。また、アトラクションでは、神輿會のお祝い渡御や恩師との語る会が行われ、会場を大いに盛り上げるなど思い出に残る成人式で、連帯感や郷土愛が育まれた。</p> <p>子を持つ親の学習機会の充実を図るために実施した「やまがた子育て講座」「幼児共育ふれあい広場」については、参加しやすいように学校等行事に合わせて講座を開催し、内容も座談会やグループワーク方式を取り入れ、参加者から好評を得た。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>家庭教育推進事業「幼児共育ふれあい広場」「やまがた子育て講座」については、学校や保育所等との連携を密にして実施に努めていく。</p> <p>西村山視聴覚教育協議会の視聴覚教材・機材については、寒河江市に移管し、当分の間引き続き寒河江市が貸出し業務を行うことになった。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	公民館活動事業	所管課・係	生涯学習課 中央公民館
施策体系 教育振興計 画	IV 地域主体の活動による心豊かな人づくり	予算科目 目	10 教育費
	1 生涯をととした学習活動が盛んなまちづくり		4 社会教育費
			4 公民館費

2. 事業の概要

事業目的	社会教育・生涯学習の拠点として、市民の学習ニーズに即した講座や芸術文化、レクリエーション等の各種事業を実施し、生涯学習活動、公民館活動を推進する。
事業内容	地区公民館と分館の相互の連携を図り、自主的な活動や研修会等の各種事業を支援する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	3,956	補正額等		合計	3,956	決算額	3,711
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

(1)分館長、主事の委嘱(61分館の分館長・主事) (2)生涯学習活動推進員(20名) (3)公民館事業用具等の整備と活用(運動用品、印刷機用消耗品) (4)学びのふるさと推進事業 ① 社会教育関係各種団体等との共催事業の実施 28件 市公民館大会(市公民館連絡協議会) 2月1日(日) 139名参加 子ども会のための親と子の研修会(市子ども会育成連合会) 11月23日(日) 41名参加 その他 地区子ども会事業、地区文化祭、地区民スポーツ・レク大会等 ② 分館連携事業の実施 4件 分館が地区公民館と連携し、地域力の向上やコミュニティ醸成のために実施 ・ひがし分館－ひがし公民館大運動会(5月11日(日)) ・雲河原分館－雲河原地区防災訓練及び防災研修会(11月2日(日)) ・曙 町分館－曙町グラウンドゴルフ大会(9月28日(日)) ・楯 分 館－楯夏祭り(7月26日(土)) (5)各公民館運営会議等の設置 中央公民館運営審議会 8名 年1回 東部地区公民館運営会議 18名 年1回 南部地区 " 9名 年2回 柴橋地区 " 12名 年1回 西部地区 " 21名 年1回

5. 事業の評価

各分館や各種団体と協力しながら、レクリエーション大会や文化祭など、公民館の各種事業を展開した。また、市内61分館で組織する公民館連絡協議会と連携しながら研修会などを実施し、分館活動の活性化を図った。公民館事業については、運営審議会や運営会議で住民等の声を聴きながら、活気あふれる事業の実施に努めた。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	地域コミュニティの活性化を図るため、地域活動の拠点となる分館活動は引き続き、支援していく。また、研修会や交流会などを通し、分館と地区公民館が連携しながら、活気ある地域づくりのための事業を支援していく。地区公民館は、地区を元気にするための「たまり場」にできるよう、魅力あふれる施設運営などに努めていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	放課後子ども教室推進事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系	IV 地域主体の活動による心豊かな人づくり 1 生涯をととした学習活動が盛んなまちづくり	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 10 生涯学習推進費

2. 事業の概要

事業目的	放課後や週末及び小学校の長期休業中の子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進し、集団遊びや地域の人々との触れ合いを通して子どもの社会性を養い、さらに、地域の教育力の向上を図る。
事業内容	寒河江市放課後子どもプランの事業として、放課後や週末等に市内の全10小学校児童を対象に教室を開催。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	1,918	補正額等		合計	1,918	決算額	1,262
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>市内全10小学校児童を対象に5教室を開催。各教室にコーディネーターを配置し、教育活動推進員等民間ボランティアの支援を受け、様々な学びや遊び、地域独自の体験活動等を行い、各教室とも10日間開設した。夏休みおさらい学習などの学習活動やカー・ゴムボート体験などの体験活動、まが玉やブーメランの作成などの工作活動を行った。</p> <p>(1) コーディネーター 5名 (2) 教育活動推進員 40名 (3) 参加者総数 305名</p> <p style="text-align: center;">[内訳 寒河江小・西根小・三泉小 111名 寒河江中部小 90名 南部小 37名 柴橋小 39名 高松小・醍醐小・白岩小・幸生小 28名]</p>

5. 事業の評価

<p>各教室とも工夫をこらした事業内容とすることにより、学年間の交流、地域の方々との交流が図られ、充実した教室を展開することができた。教室によっては、参加者の増加による指導員不足を指摘されていたが、今年度から中学生のボランティアスタッフを依頼し、指導者体制の充実を図った。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>引き続き、地域の大人との触れ合いや自然体験の機会を増やし、子ども達の社会性を高める事業を行うとともに、スタッフについても、中学生ボランティアスタッフを活用し体制充実に努める。また、教室の実施に当たり、放課後児童クラブとの連携を図る。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	公民館整備事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
施策体系	IV 地域主体の活動による心豊かな人づくり 1 生涯をととした学習活動が盛んなまちづくり	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 1 社会教育総務費

2. 事業の概要

事業目的	地域のコミュニティの核である分館の整備を支援し、機能充実を図ることでさらなる地域力の向上を目指す。
事業内容	分館の新築・増改築、駐車場舗装及び耐震改修等の整備事業に対し、予算の範囲内で事業費の一部を補助する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	7,065	補正額等	7,773	合計	14,838	決算額	13,863
-------	-------	------	-------	----	--------	-----	--------

4. 事業の実施状況

・上野公民館耐震補強実施設計業務委託 事業費 378,000円 面積等 169㎡	完成年月日 平成26年7月14日	補助金額 252,000円
・上野公民館耐震補強工事並びに設計監理業務委託 事業費 4,266,000円 面積等 169㎡	完成年月日 平成27年1月16日	補助金額 2,604,000円
・上野公民館便器取替工事 事業費 263,000円 面積等 1ヶ所	完成年月日 平成26年8月21日	補助金額 168,000円
・平塩公民館耐震補強工事並びに監理業務委託 事業費 7,620,480円 面積等 278㎡	完成年月日 平成26年9月24日	補助金額 4,418,000円
・中町公民館耐震補強設計・監理業務委託 事業費 378,000円 面積等 111㎡	完成年月日 平成26年11月27日	補助金額 252,000円
・中町公民館耐震補強工事 事業費 2,484,000円 面積等 111㎡	完成年月日 平成26年11月27日	補助金額 1,541,000円
・高屋公民館耐震補強実施設計監理業務委託 事業費 799,200円 面積等 295㎡	完成年月日 平成27年1月19日	補助金額 532,000円
・高屋公民館耐震補強工事 事業費 6,763,805円 面積等 297.75㎡	完成年月日 平成27年1月19日	補助金額 4,096,000円

5. 事業の評価

4つの分館において、耐震補強工事等を実施し、地域活動拠点施設の整備促進が図られた。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	分館の耐震化については、引き続き地元との話し合いを行いながら推進していく。また、公民館類似施設を管理している町会等に対しても、市の補助制度の周知を図っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	寒河江さくらんぼ大学推進事業	所管課・係	生涯学習課 中央公民館
施策体系 教育振興計 画	IV 地域主体の活動による心豊かな人づくり 1 生涯をとおした学習活動が盛んなまちづくり	予算科目	10 教育費
		項	4 社会教育費
		目	4 公民館費

2. 事業の概要

事業目的	生涯学習と交流の場として、中央・地区公民館をつないだ、1 誰もが自己実現のため生き生きと学び、2 学びを通した触れ合いで人とひとがつながり、3 学びの成果が地域で輝きまちを育てることを目的とする市民大学を開設する。
事業内容	年間の大きなテーマを基に2つの公開講座と5つの分野で、各地区公民館での講座を組み合わせた市民講座を実施。年間の講座案内チラシを市民へ配布、講師は著名人から地域で活躍する人まで幅広く設定し目的に沿った生涯学習講座を展開する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	3,106	補正額等		合計	3,106	決算額	2,836
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

1 公開講座	(1) 開講記念公開講座 女優の渡辺えり氏を迎え、受講生のほか一般参加者も募り「愛ラブ山形ミニライブトークショー」を7月5日(土)に実施。参加者500名。 (2) 第2回公開講座 山形交響楽団音楽監督の飯森範親氏を迎え、講演とアンサンブルを11月21日(日)に実施。参加者250名。
2 キャンパス及び学部	(1) 中央キャンパス(中央公民館) ① 生き生き元気学部/主に60歳以上の方を対象に、身近な法律講座、クラゲ館長の人情話、音楽でリフレッシュ講座、楽書の年賀状講座を実施。7月23日(水)～11月19日(水)に4回実施。受講生延べ316名。 ② 歴史学部/寒河江の歴史講座、史跡巡り、寒河江の殿様、慈恩寺と平泉の講演を実施。8月9日(土)～11月8日(土)で4回実施。受講生延べ180名。 ③ 演劇学部/演劇の楽しみ方、ワークショップ(実演体験)、演劇鑑賞を実施。7月16日(水)～9月1日(月)に4回実施。受講生延べ60名。 (2) 東部キャンパス(東部地区公民館) 健康笑学部/浪曲入門、トレッキング、落語、パークゴルフを実施。9月6日(土)～11月2日(日)に4回実施。受講生延べ152名。 (3) 南部キャンパス(南部地区公民館) 旅の心得学部/旅の楽しみ方、のんびり旅プラン、旅撮影など。8月31日(日)～11月9日(日)に4回実施。受講生延べ136名。 (4) 柴橋キャンパス(柴橋地区公民館) 素敵な女性学部/絵手紙、男女共同参画、女将の話、着こなし講座。8月28日(木)～12月10日(水)に4回実施。受講生延べ112名。 (5) 西部キャンパス(西部地区公民館) ふるさと再発見学部/寒河江の元気人、大人の社会科見学、ふるさとイベントの体験講座、寒河江のうまいもん再発見講座。8月24日(日)～10月19日(日)に4回実施。受講生延べ116名。

5. 事業の評価

<p>これまで公民館単位で実施してきた成人講座の運営方法を改め、「学びで築くひと・まち・未来」を全体方針として、各公民館をキャンパスに学部を設け、受講者が「学び」を選ぶ市民講座を、5公民館7学部で初めて実施した。また、受講生同士のキャンパスカフェも実施し、意見交換しながら交流を図った。講座終了後には、受講生有志による企画検討会を実施し、講座内容や運営方法について意見を聴いた。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	生き生き元気学部や歴史学部など、人気が高い講座は存続拡充していく一方、若い世代がもっと参加しやすいように、学部や講座内容を見直しながら継続実施する。また、受講生による運営委員会をつくり、「自分たちがつくる市民大学」をめざして、講座運営や今後の内容検討などを行う。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	読書の盛んな学校づくり事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり 3 読書の盛んなまちづくり	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	読書の盛んな学校づくりの推進を図り、読書好きな子どもを育成する。
事業内容	読書活動推進員を学校に配置し、学校における読書環境の整備を行うとともに、読み聞かせやブックトーク等の実践により国語科の授業を充実させる。また、「図書館管理システム」を有効に活用し、児童生徒の読書環境の充実を図る。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	5,789	補正額等		合計	5,789	決算額	5,586
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>【読書活動推進員の配置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配置人数 5名 ・配置校 ① 寒河江小・西根小・(陵東中) ② 寒河江中部小・三泉小 ③ 南部小・柴橋小(陵南中) ④ 醍醐小・高松小・(陵西中) ⑤ 白岩小・幸生小 ・業務内容 ① 児童生徒への読書指導及び図書選定の助言 ② 図書室の整備 ③ その他児童生徒の読書活動推進のための業務 ・勤務体制 年間220日程度、各小学校に曜日ごとに2～3日の勤務、中学校は、必要に応じて対応 <p>【読書環境の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館管理システムのサポート業務の委託
--

5. 事業の評価

<p>図書環境の整備や児童生徒に対する読書の啓蒙につながる活動を、読書活動推進員が創意工夫して行うことができた。また、国語科における研究授業で読書活動推進員を活用したブックトークや読み聞かせを単元の導入で行う学校が増えた。通常の授業においても活用している学校もあり、読書活動推進員が国語科の授業にかかわることで児童生徒の学びを充実させることを、各学校が実感していることが分かった。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>5名の読書活動推進員それぞれが2～3校を受け持つ体制を継続し、教育研究所の読書活動推進に関する研修部会との連携をより一層図っていき、活動内容を充実させていきたい。(H27予算 6,148千円)</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	図書館管理運営事業	所管課・係	生涯学習課 図書館:業務係
施策体系	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり 3 読書の盛んなまちづくり	予算科目	10: 教育費 4: 社会教育費 5: 図書館費
教育振興計	画		

2. 事業の概要

事業目的	図書館の機能充実と良好な環境の維持を図るため、施設の保守管理や修繕等を行い、利用者の利便性の向上を図る。
事業内容	図書館施設の機能保持のため、空調機器保守点検業務、清掃や機械警備業務等を委託するほか、管理運営のために不可欠な物品等の整備、修繕等を行う。更なる利便性向上のため、市民のニーズに的確に対応した管理運営を行う。 また、駐車場(新北側駐車場は12月から)の継続整備や、空調用ポンプの更新工事による安全性の向上を図る。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	24,859	補正額等		合計	24,859	決算額	24,634
-------	--------	------	--	----	--------	-----	--------

4. 事業の実施状況

<p>【保守点検、管理運営業務】 設備管理業務、機械警備業務、冷暖房設備保守、清掃業務、自動ドア保守、エレベーター保守、コンピューター保守、図書館情報システム賃借、駐車場賃借(新北側駐車場は12月から) 外</p> <p>【工事、修繕】 ・空調用ポンプ更新工事 外</p> <p>【利用状況】 ・入館者数 114,602人(1,819人減) ・開館日数 328日(増減なし) ・貸出者数39,254人(670人減) ・貸出冊数153,993冊(3,082冊減)</p>
--

5. 事業の評価

<p>利用者のニーズを考慮した図書館サービスと、安全で快適な環境の提供に努めており、入館者の多様な利用につながっている。平成26年度は、空調用ポンプの更新工事を行った。また、北側駐車場の契約期間満了により駐車スペースが減少したが、新北側駐車場を12月から新たに整備したことにより、利便性を確保し利用者から喜ばれた。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>きめ細やかで安定的な図書館サービスの提供、施設等の適正管理と計画的整備を進め、図書館機能の向上と安全で快適な環境の維持管理を図っていく。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	図書資料等購入事業	所管課・係	生涯学習課 図書館・業務係
施策体系	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり 3 読書の盛んなまちづくり	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 5 図書館費

2. 事業の概要

事業目的	市民の生涯学習の拠点施設として、図書・視聴覚資料等を購入・整備し、図書資料及び図書館機能の充実を図る。
事業内容	一般図書、児童図書、視聴覚資料(音響・映像)、雑誌等について、「図書館資料選定要領」に基づき、公共図書館の役割を踏まえ、幅広いニーズに対応しながら計画的な整備を進める。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	8,555	補正額等		合計	8,555	決算額	8,532
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

【図書資料等の購入】			
図書館蔵書状況(平成27年3月末)			
① 一般図書	98,463冊(前年度比 704冊増)	「購入冊数	3,097冊」
② 児童図書	30,412冊(前年度比 706冊増)	「購入冊数	843冊」
③ 視聴覚資料(音響・映像)	4,014点(前年度比 35点増)	「購入点数	20点」
④ 雑誌等	2,774冊(前年度比 1冊増)	「購入冊数	911冊」

5. 事業の評価

<p>郷土の歴史や文化、地域情報誌など幅広い資料の収集と提供に努めるとともに、乳幼児期からの読書活動の推進を目的とした児童書の重点整備に加え、読書推進団体等と連携した活動等が定着し、乳幼児期の親子等の利用促進にも繋がっている。</p> <p>また、各賞受賞の話題の図書やベストセラー、利用者からの要望にも配慮し、「公共図書館に相応しい本」の購入等を進めた結果、幅広い利用者層に対応した蔵書の整備がさらに進み、市民のための図書館として喜ばれた。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	市民の読書ニーズを的確に把握しながら、公共図書館としての機能の充実を図り、市民の自主的な読書活動等を継続的に支援していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	読書普及事業	所管課・係	生涯学習課 図書館：業務係
施策体系 教育振興計 画	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり	予算科目	10: 教育費
	3 読書の盛んなまちづくり		4: 社会教育費
			5: 図書館費

2. 事業の概要

事業目的	生涯学習の拠点施設として、利用者にとって魅力ある図書館づくりを進め、読書の盛んなまちづくりを推進する。
事業内容	各層の読書活動の普及を図るため、定例事業や図書館自主事業等を実施する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	2149	補正額等		合計	2149	決算額	2082
-------	------	------	--	----	------	-----	------

4. 事業の実施状況

(1) 定例事業
① ボランティアグループによる「おはなし会」の開催(4団体・約120回)
② 子どもに読ませたい本のコーナー等の設置(通年)
③ 「ブックテマコーナー・(ミニブックテマコーナー)」等の設置(通年)
④ 新入生及び未登録児童の一斉登録事業の実施(306名)
⑤ 市子育て推進課、健康福祉課及びブックスタートサポーターとの連携で「ブックスタート事業」実施(12回)
⑥ 3ヵ月児健診時と子育て支援施設への出張による「絵本の部屋」開催(24回)
⑦ 展示ホールを活用した多様な展示会等を開催(約17団体等)
(2) 図書館自主事業
① 「さくらんぼの都市さがえ全国俳句大会」の開催 6月29日 文化センター 200名参加)
② 「さがえ図書館まつり2014」の開催 (8月10日 図書館 約250名参加)
③ 「シリーズ山形の文学を探る」の開催 (8月～11月・全4回(5テーマ) 図書館ほか 延べ200名参加)
④ 「上橋菜穂子氏 読書講演会」の開催 (10月19日 文化センター 160名参加)
⑤ 「MあんどB人形劇公演」の開催 (10月24日 図書館 市内幼稚園・保育所ほか対象約350名参加)
⑥ 「和合亮一氏 詩の礎(つぶて)朗読会」の開催 (1月31日 図書館 80名参加)
⑦ 安孫子荻聲ギャラリー常設展示(9月から展示入替)

5. 事業の評価

<p>図書館施設等を活用した多彩な展示や、季節感や話題性のある事柄を取り上げた「ブックテマコーナー」の設置など、継続的な読書普及事業が利用者の好評を得ている。また、乳幼児期からの読書推進を目的とした「ブックスタート事業」や、読書推進団体との連携による「おはなし会」の開催などの成果が、図書館の利用状況などにもみられている。</p> <p>また、図書館まつり、朗読会、講演会及び俳句大会など、各層に対応した多彩な事業が多くの参加者から好評を得ており、図書館をきっかけとした読書活動をはじめとする文化的活動の深まりや広がりにも繋がった。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>市民のニーズにも的確に対応した、多彩で魅力ある事業等の開催が求められている。読書の盛んなまちづくりを推進するため、継続的かつ効果的な事業等をさらに進めていく。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	生涯スポーツ振興事業	所管課・係	生涯学習課 スポーツ振興室
施策体系	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり	予算科目	10 教育費
教育振興計画	5 スポーツに親しみ心身の健康を育むまちづくり		5 保健体育費
			1 保健体育総務費

2. 事業の概要

事業目的	市民一人ひとりが、いつでもスポーツに親しむことができる社会環境の実現を目指す。
事業内容	体育施設の年間を通じた利用とスポーツ振興を図るため、指定管理者や各種スポーツ団体と連携して、ニュースポーツ出前講座、スキー教室、少年少女カヌー教室、市民カヌー教室を開催するほか、スポーツ大会を開催支援することにより、スポーツに親しむ基盤整備とスポーツ人口の拡大を図った。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	1,665	補正額等		合計	1,665	決算額	1,507
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

より多くの市民がスポーツに親しむことができるように、各種スポーツ団体や寒河江市総合型スポーツクラブ及び一般財団法人寒河江市体育振興公社に事業の一部を委託し、様々なスポーツ教室や講習会等の実施を通して、多くの市民にスポーツの機会を提供した。

(1) 少年スポーツ活動育成事業
 【スポーツ教室】 ① 野球教室 (1回 41名) ② カヌー教室 (3回24名)
 【スポーツ大会】 ① 野球 (2回8チーム) ② バレーボール (10チーム) ③ ミニバスケットボール (11チーム)
 ④ バasketボール (17チーム) ⑤ 剣道 (110チーム)

(2) ファミリースポーツ推進事業
 ① 市民スキー教室 (1回 79名) ② ニュースポーツ出前教室 (8回 370名) ③ 市民カヌー教室 (2回 41名)

(3) 生涯スポーツ推進事業
 ① 市スポーツレクリエーション祭 (1回 423名) ② 婦人ナイターバレーボール大会 (6チーム)
 ③ 成人スポーツ講座 (4講座 35回 延べ392名)

(4) アスポーツさがえへの委託事業
 ① ちびっこスポーツ教室 (16回 30名) ② 親子スポーツ教室 (12回 11組22名) ③ スポーツ面白講座 (3回 51名)
 ④ ジュニアスポーツ教室 (20回 34名)

(5) (一財)寒河江市体育振興公社の自主事業 スポーツ教室の開催 (人数は延べ人数)
 ① 少年少女柔道教室 (20回 462名) ② 少年少女剣道教室 (20回 207名) ③ 親子テニス教室 (8回 119名) ④ 少年少女ソフトテニス教室 (10回 70名) ⑤ バドミントン教室 (8回 52名) ⑥ 水泳教室 (6回 176名) ⑦ 弓道教室 (10回 103名)
 ⑧ グラウンド・ゴルフ体験会 (2回 45名) ⑨ ランニング教室 (1回 16名)

5. 事業の評価

様々なスポーツ教室を開催し、誰もが気軽にスポーツに親しみ、心身の健康増進の推進につながっている。また、指定管理者等の委託事業により新たなスポーツ人口の獲得にもつながっている。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	更なるスポーツ教室の充実と各団体の自主活動を支援していくことで、スポーツ人口の増加を図っていく。また、グリバーさがえを利用し、カヌー競技の普及拡大を図るとともに、水面広場を利用したスポーツやレクリエーションの普及に努めていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	各種スポーツ大会委託事業	所管課・係	生涯学習課 スポーツ振興室
施策体系	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり 5 スポーツに親しみ心身の健康を育むまちづくり	予算科目	10 教育費 5 保健体育費 1 保健体育総務費

2. 事業の概要

事業目的	各種スポーツの普及振興を図る。
事業内容	寒河江市体育協会に各種スポーツ大会運営(18競技24大会)を委託し、競技力の向上と競技人口の拡大を図る。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	654	補正額等		合計	654	決算額	634
-------	-----	------	--	----	-----	-----	-----

4. 事業の実施状況

<p>市体育協会加盟団体に対し18競技24大会を委託実施し、それぞれが盛況を得た。 (1) 寒河江市体育協会への委託事業(18競技・24大会)</p> <p>野球・陸上競技・バスケットボール・卓球・弓道・バレーボール・ソフトテニス・テニス・バドミントン・柔道・剣道・グランドゴルフ・ インディアカ・ソフトボール・新卓球・ターゲットバードゴルフ・バウンドテニス・パークゴルフ等各種大会</p>

5. 事業の評価

<p>各競技団体へ事業を委託し、各競技団体が自ら計画立案し事業を実施することで、競技団体の自立につながっている。またいろいろなスポーツ大会を支援することで、多くの方が参加してスポーツ参加率が向上し、競技人口の拡大につながっている。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>スポーツの普及振興、競技力の向上及び競技人口の拡大のため継続していくとともに、さらに各競技団体が相互に協力や連携を図るようすることで、スポーツ全体の振興がなされるように推進する。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	体育施設整備事業	所管課・係	生涯学習課 スポーツ振興室
施策体系 教育振興計 画	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり	予算科目	10 教育費
	5 スポーツに親しみ心身の健康を育むまちづくり		5 保健体育費
		目	1 保健体育総務費

2. 事業の概要

事業目的	安全、安心快適で利用しやすい体育施設の整備を図る。
事業内容	利用者が安心して、快適に利用できるよう体育施設の整備・改修を行う。市民体育館東側外部建具が老朽化し危険性があるため改修工事を実施する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	47,970	補正額等	△103	合計	47,867	決算額	47,471
-------	--------	------	------	----	--------	-----	--------

4. 事業の実施状況

最上川寒河江緑地や市民体育館等について、次の工事を実施した。

① 寒河江市市民体育館東側外部建具改修工事	44,280 千円
② 寒河江市市民プールスタート台改修工事	2,082 千円
③ 寒河江市市民プール循環浄化装置交換補修工事	486 千円
④ 寒河江市市民プールスタート台基準点設置工事	126 千円
⑤ 寒河江市市民体育館東側外部建具改修実施設計監理業務委託(実施設計業務)	313 千円
⑥ 寒河江市市民体育館東側外部建具改修実施設計監理業務委託(監理業務)	184 千円

5. 事業の評価

老朽化により危険性があった市民体育館東側外部建具改修工事や市民プールスタート台改修工事等の実施により、安全、安心快適で利用しやすい体育施設の整備が図られ、多くの市民の施設利用の向上につながっている。

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	安全、安心快適な施設の整備を図るため、老朽化している箇所の修繕、改修工事を計画的に進めていく必要がある。(H27予算 45,237千円)

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	さがえっこ育みアクションプラン推進事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	IV 地域主体の活動による心豊かな人づくり	予算科目	10 教育費
教育振興計画	3 地域に開かれた学校、学びを高め合うまちづくり		1 教育総務費
			3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	市教育振興計画の重点施策、並びに新第5次振興計画の重点プロジェクト「さがえっこすくすくプロジェクト」の一環として推進する「さがえっこ育みアクションプラン」の中核となる事業を実施する。
事業内容	「さがえっこ育みアクションプラン」推進本部を設置し、事業の周知啓発を行う。また、各小中学校区に学校支援地域本部を設置し、地域で学校を支援するしくみづくりを行う。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	4,381	補正額等		合計	4,381	決算額	4,257
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>【推進本部の設置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育長を本部長とし、学校、幼稚園・保育所、保護者、地域の代表、関係各課長等を構成員とする会議を年3回開催し、事業の推進方策等を検討 ・平成23年度に制定した「さがえっこの育み10か条」を指針とし、年度始めにリーフレットを作成し、幼稚園・保育所、小中学校の保護者に配布したり、PTA総会時に話をするなどの啓発活動を実施 ・「さがえっこ育みフォーラム」の企画と開催 (久保田雅人氏の講演「久保田雅人の子育て奮闘記」、参加者約100人) <p>【学校支援地域本部事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全小中学校区に学校支援地域本部を設置し、地域住民が学校を支援する学校支援ボランティア活動を推進 ※学校支援ボランティアの総数 2,059人 (25年度:1,970人)
--

5. 事業の評価

<p>事業4年目となる本年度は、指針となる「さがえっこの育み10か条」に基づき、昨年度から継続している3つの重点(あいさつ、読書、生活リズム・食育)を定め、各小中学校や幼稚園・保育所等で家庭や地域への働きかけを行いながら、実践を展開することができた。</p> <p>さがえっこ育みフォーラムでは、わくわくさんでおなじみの久保田雅人さんにおいでいただき、ご自身の子育てについて楽しくお話いただくとともに、参加者が家庭で子どもとふれあうきっかけの一つとして、簡単な工作についてもご指導いただいた。</p> <p>また、学校支援地域本部事業についてもすべての小中学校に「学校支援地域本部」を設置し、学校支援ボランティア活動を展開した。学校支援ボランティアとしてかかわる地域住民や保護者が増え、活動の広がりが見られている。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>アクションプランの指針となる「さがえっこの育み10か条」については、さらに多様な手段で周知・啓発を図っていくとともに、特に市民の認知度を高めるための工夫が必要である。</p> <p>また、学校支援地域本部については、今後も小中学校にかかわってくれる地域住民を増やしていくことが重要である。そのためにも、コーディネーターが配置されていない小学校にも、段階的に配置をしていく必要がある。(H27予算 4,381千円)</p>

事務事業点検・評価調査

1. 事業名等

事業名	いのちと心を育む学校づくり支援事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系 教育振興計画	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり 2 道徳心、社会性を育むまちづくり 3 読書の盛んなまちづくり 4 いのちと心を育む食育を推進するまちづくり 6 国際化に対応したまちづくり II 郷土を愛し、次代を担う意欲ある人づくり 2 児童生徒の学ぶ力を育むまちづくり III 歴史と文化を活かし、新たな文化を育む人づくり 1 歴史と伝統文化を活かしたまちづくり IV 地域主体の活動による心豊かな人づくり 2 家庭の教育力を高めるまちづくり 3 地域に開かれた学校、学びを高め合うまちづくり	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	市教育振興計画の重点施策並びに新第5次市振興計画の重点プロジェクト「さがえっこすくすくプロジェクト」の一環として推進する「さがえっこ育みアクションプラン」の実現のために、学校における取り組みの具現化を図る。
事業内容	子どもたちの学力や体力・道徳心の向上、基本的生活習慣の確立など、学校が家庭や地域と連携して取り組む活動や、地域の実態に応じた特色ある教育活動を支援する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	3,400	補正額等		合計	3,400	決算額	3,400
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>各学校において、市の重点施策等を具現化した教育活動を進めるために本事業を活用している。具体的には、平成23年度から推進している「さがえっこ育みアクションプラン」に基づき、①食育推進活動、②子どもの生活リズムの確立を図る活動、③子どもの道徳心や社会性を育む活動、④読書の盛んな学校づくり活動などについて、各学校で家庭や地域と連携した取り組みを展開した。</p> <p>また、特色ある教育活動については、地域の自然や歴史、伝統文化を生かした取り組みを多くの小学校で実施した。</p> <p>(例)南部小:ピオトープでの学習 高松小:米の販売活動、谷沢梅を使った料理活動 醍醐小:ホテルの里づくり活動、慈恩寺の学習 幸生小:幸生大黒舞、葉山太鼓 幸生銅山を学ぶ、「友遊の森」探検 三泉小:さくらんぼ学習、川遊び、鮭の稚魚放流 など</p>

5. 事業の評価

<p>各学校では、この事業を有効に活用し、いのちと心を育む活動や地域の特色を生かした教育活動を主体的に展開しており、「さがえっこ育みアクションプラン」の具現化を図るために大変重要な事業となっている。</p> <p>また、各学校における事業予算についても、学校規模や児童生徒数でなく、提出された事業計画を精査し、事業の重要度や必要性を考慮して配分をするため、それぞれの学校での活動内容に明確な意図や独自性が見られる。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止
今後の対応	「さがえっこ育みアクションプラン」の具現に向けて、学校や地域の実態・課題に応じた活動を、それぞれの学校で主体的に計画し実行することができるこの事業は、大変重要な意味をもつものである。この事業の意図を踏まえて有効に活用していくよう、今後も各学校へ周知していく。

事務事業点検・評価調査書

1. 事業名等

事業名	教育研究推進事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	Ⅱ 郷土を愛し、次代を担う意欲ある人づくり 2 児童生徒の学ぶ力を育むまちづくり	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 4 教育研究所費

2. 事業の概要

事業目的	教職員の資質を向上させるとともに、児童生徒の学力の状況を把握し、学力の向上を図る。
事業内容	教育研究所を設置し、各研究部、研修部等における教職員の主体的な研修活動を行う。また、児童生徒の学力検査及び知能検査を実施し、結果の分析を行うとともに、これに基づく学力向上対策や授業改善を実践する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	5,360	補正額等		合計	5,360	決算額	4,998
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>【教育研究所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○研究紀要編集委員会 研究紀要「教育風土さがえ」第27号を発刊(会議2回) ○研修部 7部会(授業改善・生徒指導・食育・教育環境・情報教育・特別支援教育・読書活動)(研修会各2回) ○研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・全体講演会(7月30日) 文教大学教育学部 教授 文教大学大学院教育学研究科長 嶋野道弘氏 「子どもの学び、学びを促す教師の指導の在り方」 ・全員集会全体会(5月20日) 盛岡大学文学部児童教育学科 准教授 武蔵由佳氏「Q-Uを生かした学級経営」 ・研修会(9月19日) 県教育センター研究・情報課 指導主事 高野浩男氏 「探究の過程を大切にす総合的な学習の時間の指導の在り方」 ○学力向上対策委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・小2～中3における教研式NRT学力検査の実施(国語及び算数・数学:全学年、理科:小4以上、社会:小6以上、英語:中2以上)、小2、4、6、中1における知能検査の実施(4月) ・学力対策委員会の開催(5月・1月)と、報告書「つきたい力」の作成・配布 ・結果を受けて、各学校での個に応じた指導や授業改善の取り組み

5. 事業の評価

<p>各研修部においては、課題に応じた主体的な研修を実施した。26年度は、教育財政管理に関する研修部を教育環境に関する研修部と改め、教育財政、児童生徒の学習環境、保護者への対応、地域との連携等、教育を取り巻く環境に関する内容について研修することができるよう、研修内容の見直しを図った。情報教育に関する研修部会では、小学校に導入された電子黒板・実物投影機について、授業で効果的に活用することができるように、研修内容を工夫した。食育に関する研修部会では、食育に関する授業を部員で参観し、事後研究会で食育の授業についての理解を深めた。研修の成果は、日々の授業改善等、各校における教育活動の充実に生かされている。児童生徒の学力の向上については、学力検査によって児童生徒一人ひとりの学力の状況を適切に把握し、日常の個に応じた指導に活用されている。また、学力対策委員会で作成した報告書「つきたい力」と小中学校の結果一覧を所員全員に配布しており、学習指導改善の取り組みに有効に活用されている。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>新たな教育課題への対応のための教育研究所の活動や、児童生徒の個々の学習状況を適切に把握するための学力検査の実施は必要な事業であり、今後も継続していくことが重要である。</p> <p>また、昨年度から県の事業で実施しているQ-Uアンケートを、事業終了後も市の事業としても継続して実施し、学級経営の状況や学力検査との相関関係などの客観的なデータをもとに、結果を学級経営や授業改善、いじめの防止等につなげていくことが必要である。(H27予算 5,120千円)</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	理科教育センター運営事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	II 郷土を愛し、次代を担う意欲ある人づくり 2 児童生徒の学ぶ力を育むまちづくり	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 理科教育センター費

2. 事業の概要

事業目的	小中学校における理科教育の充実と、教員の資質向上を図る。
事業内容	寒河江市理科教育センターを設置し、理科教育に関する調査研究、研修、備品器具類の貸し出し、会報の発行等を行う。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	150	補正額等		合計	150	決算額	144
-------	-----	------	--	----	-----	-----	-----

4. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ○研修活動(参加状況:所員研修12名・小3年研修13名・小5年研修10名・小4、6年合同研修25名・中学校研修3名) ○調査研究(指導案・小中理科大会要項の収集) ○備品器具の貸し出し(備品・教材貸出) ○会報の発行(必要に応じて随時発行)

5. 事業の評価

<p>本年度の研修では、小学校3年の研修において入門期における理科教材の検討を行うような内容となっており、生活科から移行してくる子どもが学びやすくなることをねらうことができた。また、小学校5年の研修においてデジタル教材の活用を検討する内容となっており、これから推進されていくICTによる学びの有効性をさぐることができた。</p> <p>事務局で研修会参加者の感想を収集し、研修会の在り方を検討する際の参考として活用することができ、先生方のニーズに応えていく運営を行ってくれた。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	27年度4月に全国学力・学習状況調査で理科が行われた。その結果を分析し市としての傾向をつかみ、理科教育センターの研修に反映させていきたい。結果は秋頃になるので、28年度に向けた事業の拡充を図るべきかどうかを検討していきたい。

事務事業点検・評価調査

1. 事業名等

事業名	学校教育研究推進事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	Ⅱ 郷土を愛し、次代を担う意欲ある人づくり	予算科目	10 教育費
教育振興計画	2 児童生徒の学ぶ力を育むまちづくり	項	1 教育総務費
		目	3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	児童生徒の学ぶ力を育み、確かな学力をつけるための研究を推進する。
事業内容	市内小中学校の中から、毎年2校に2か年ずつの研究を委嘱する。研究活動の成果は、市内の教職員が参集する公開研究発表会等において発信し、市全体の教育活動の向上に役立てる。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	400	補正額等		合計	400	決算額	400
-------	-----	------	--	----	-----	-----	-----

4. 事業の実施状況

<p>寒河江市教育委員会研究委嘱校(兼:寒河江市教育研究所研究協力校)として2校を委嘱</p> <p>【白岩小学校】平成25～26年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究テーマ: 学び合い、ひびき合う授業をめざして 公開期日: 10月10日(金) 参加者数: 295名(市内:277名、市外:18名) 学び合う、ひびき合うことについて校内で授業研究会を繰り返しながら検討を重ね、その具現化を目指して取り組んできたことを公開研究会の折に発表した。全学年・特別支援学級すべての学級が授業を公開した。授業公開の後に事後研究会を行い、市内外の先生方と活発な話し合いが行われ、今求められる授業の在り方について考えるよい機会となった。また、最後には山形大学教職大学院森田智幸先生から「協同的な学びを通して一人ひとりの学びの質を高める」という題で講演をいただき、白岩小の研究について価値づけを図っていただいた。参加した先生方に授業改善についての理解を深めてもらうことができた。 <p>【陵東中学校】平成26～27年度</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究テーマ: 開かれた人間関係を築き、学び合い・高め合う集団の育成 次年度公開に向け、Q-Uテストの結果分析を活用し、授業に取り入れていくための検討がなされた。授業研究会を繰り返したり、先進校の取り組みを聞いたりしながら研究を深めることができた。
--

5. 事業の評価

<p>公開研究発表会だけでなく、それに向けた校内の授業研究会や指導案作成検討会等も充実し、教員の資質向上が図られた。研究指定された学校以外の先生方も協力者としてかわり、指定校以外の先生の資質向上にもつながった。</p> <p>事後研究会の時間を確保することで、参加している先生方が十分に話し合える環境が、先生方の資質向上につながると思われた。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>日々の授業が子どもたちの豊かな成長に大きく影響する。このことから考えても本事業は大切なものである。今後も継続していくことが重要である。委嘱される学校は2つであり、公開授業研究会はそのうちの1つとはなるが、校種問わず市内の先生方が一堂に会して授業を見合い協議する機会は、よい研修機会である。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	外国語指導助手招致事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育む人づくり 6 国際化に対応したまちづくり	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	市内小学校の外国語活動や、中学校の外国語の学習を充実させるとともに、児童生徒の国際感覚を育む。
事業内容	外国語指導助手(ALT)を2名配置する。各小中学校への派遣により、授業やその他の教育活動の場面で、協働で授業を行うなど、指導の補助を務めるほか、教員の研修においても活用する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	2,753	補正額等		合計	2,753	決算額	2,099
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

2名のALTを市内13小・中学校に学期ごと派遣計画を立て、小学校の外国語活動・中学校の外国語学習の支援を行った。	
ALTの派遣	<小学校> 1学期65回、2学期 69回、3学期 38回、計172回 <中学校> 1学期24回、2学期 20回、3学期 18回、計 62回 <その他> 寒陵スクール 1回

5. 事業の評価

8月より新規のALTになったためその他の活用が図れなかった。しかし、これまでのALTと新規ALTの引き継ぎを充実させ、できるだけスムーズに各学校での活用がなされるようにした。派遣についてはこれまで同様、小学校においては、曜日ごとに学校を固定し、中学校においては、学習内容に応じて派遣日を希望してもらい、第1希望どおりに派遣することができた。
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	27年度は継続した形で、ネイティブによる音声に触れる機会を増やしていくことを大切にして、ALTによる支援を行っていく。そして、これから始まる英語教育の推進に向けた対策を検討し、国や県が行う事業があればそれらも考慮して28年度以降拡充していくかを吟味していきたい。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	教育相談事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	Ⅱ 郷土を愛し、次代を担う意欲ある人づくり	予算科目	10 教育費
教育振興計画	2 児童生徒の学ぶ力を育むまちづくり	項	1 教育総務費
		目	3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	不登校をはじめとする学校や保護者からの教育相談に対応するとともに、不登校児童生徒の学校への復帰を図る。
事業内容	教育相談室に教育相談員3名を配置し、学校教育や家庭生活全般にわたる相談に対応するとともに、不登校の原因把握に努める。 また、不登校児童生徒の学校復帰のための適応指導教室「寒陵スクール」を開設する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	4,279	補正額等		合計	4,279	決算額	3,782
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>【教育相談室の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談員の配置：教育相談員3名(うち、訪問相談員2名) ・相談の件数： <学 校> 来室相談 87件、電話相談 348件、学校訪問 109件 <保護者> 来室相談 132件、電話相談 396件、家庭訪問 168件 <p>【寒陵スクールの概要】(教育相談員が運営)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在籍児童生徒：計12名(小学生2名、中学生10名) ・開設日数：212日(勤労青少年ホーム：201日 市立図書館：6日 フローラ・SAGAE：5日) ・その他：長期休業中の学習(4日)、遠足・調理実習等の体験活動やALTとの交流会、保護者懇談会(2回)等を実施
--

5. 事業の評価

<p>年度末に集計した不登校による年間30日以上欠席者は、小学生6名(前年度7名)、中学生37名(前年度37名)と、前年度と同程度で推移しており、今後も引き続き未然防止を含めた取り組みが必要である。</p> <p>寒陵スクールについては、学校に復帰する、学校への登校が増える、志望する高校に進学する等の成果が全員に見られた。また、訪問相談についても、学校への登校や寒陵スクールへの出席につながったり、相談によって保護者の心の安定を図るなどの成果が見られた。</p> <p>教育相談については、保護者や教員からの相談に対し、福祉部局などの関係機関との連携も密にしながら、きめ細やかな対応を行った。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>家庭に関わる問題は年々多様化しており、また、いじめに関わる問題についての対応も大切となる。今後とも福祉部局や外部の専門機関等と連携して対応にあたり、中学校卒業後の継続した支援など、相談機能の充実を図っていく必要がある。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学習補助員配置事業	所管課・係	学校教育課 指導推進室 指導係
施策体系	II 郷土を愛し、次代を担う意欲ある人づくり 2 児童生徒の学ぶ力を育むまちづくり	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	個別指導が必要な児童生徒への支援を行い、教育活動の充実を図る。
事業内容	通常学級における個別の指導が必要な児童生徒や、特別支援学級における障がいの重い児童生徒等に対し、学習補助員を配置し、個に応じたきめ細やかな支援を行う。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	17,073	補正額等		合計	17,073	決算額	16,937
-------	--------	------	--	----	--------	-----	--------

4. 事業の実施状況

【配置校】	寒河江小(3名)、寒河江中部小(2名)、南部小(1名)、西根小(2名)、柴橋小(3名)、高松小(1名)、醍醐小(1名)、白岩小(2名)、三泉小(1名)、陵東中(1名)、陵南中(2名)、陵西中(1名) <u>計12校(20名)</u>
【業務内容】	学級担任を補助し、個別支援が必要な児童生徒への学習・生活上の支援を行う ① 通常学級における、個別の支援が必要な児童生徒への対応 ② 特別支援学級における、障がいの重い児童生徒や多人数の児童生徒への対応
【勤務体制】	年間200日程度(授業日)、学校の実情に応じて4~6時間の勤務

5. 事業の評価

各学校の課題に応じて補助員を配置したのはもちろんのこと、県の加配措置を考慮したうえでの配置を行った。各学校において個別指導が必要な児童生徒に対する学習補助、学級全体の学びの向上に資する補助が行われた。また、各学校の実情に合わせて通常学級への補助、特別支援学級への補助、取り出し指導への補助を選択できるようにして有効に学習補助員を活用してもらうことができた。さらに、障がいをもつ児童生徒へのクールダウンの対応、授業中に離席してしまう児童生徒への対応など多岐にわたる業務をお願いすることができ、児童生徒が落ち着いて学校生活を送るための支援につなげることができた。

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	これまで同様、各学校の実情に合わせ、県の加配措置、学級編制状況を加味して適正に配置していく。また、学力向上を目指した補助員の活用を各学校に実践してもらい確認をとっていきたい。今後も通常学級における個別指導の必要な児童生徒への対応が各学校において課題になることが予想される。学校の児童生徒の実態を正確に把握し、何よりも子どもにとっての充実した学びが実現されるようにしていきたい。(H27予算 17,073千円)

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	障害児通学支援事業	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	Ⅱ 郷土を愛し、次代を担う意欲ある人づくり 2 児童生徒の学ぶ力を育むまちづくり	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	障がいにより自力での通学が困難な児童生徒に対して、タクシー送迎で通学支援を行い保護者の負担軽減を図る。
事業内容	登校時または下校時のタクシー送迎を市内タクシー会社に委託し、通学支援を行う。

3. 予算額・決算額

(単位: 千円 千円未満切上げ)

当初予算額	1,748	補正額等		合計	1748	決算額	1034
-------	-------	------	--	----	------	-----	------

4. 事業の実施状況

1. 実施	登校時または下校時のタクシーによる通学支援
2. 利用状況	小学校 : 5校、6名、延べ 573回 中学校 : 1校、2名、延べ 386回 合計 : 6校、8名、延べ 959回

5. 事業の評価

<p>家庭・学校及びタクシー会社が連携し、各児童生徒に応じた支援体制を整えたことで、障がいのある児童生徒の就学の適正化が図られ、保護者の負担軽減に繋がった。 平成24年度から登校時か下校時かを選択できるようにしたことで利用拡大が図られたが、往復の支援を望む声がある。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	保護者から登下校往復での支援を望む声があるため、検討しながら継続する必要がある。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	小中学校ICT活用支援事業	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	Ⅱ 郷土を愛し、次代を担う意欲ある人づくり 2 児童生徒の学ぶ力を育むまちづくり	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費
教育振興計画			

2. 事業の概要

事業目的	ICT活用支援員が小中学校を巡回してパソコン等ICTを活用した教育活動について支援を行い、小中学校のICT活用に係る教育を推進する。
事業内容	小中学校におけるICTを活用した授業及び校務処理を円滑に進めるため、ICT活用支援員が小中学校を巡回して児童生徒及び教職員に対する支援活動を行う。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	3,600	補正額等		合計	3,600	決算額	3,564
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

ICT活用支援員1名が、延197日小中学校を巡回して児童生徒及び教職員に対する支援活動を行った。
--

5. 事業の評価

平成26年度からICT支援員が1名となり、機器のメンテナンスやソフト活用の技術的支援のために実施計画に基づいて各小中学校を年間10回程度訪問しているが、どこの学校でも支援日を待ちわびている状態である。スキル面や時間的制約などの理由で教職員による対応は非常に困難であり、教職員のICT活用に伴う準備などの負担軽減に関してICT支援員の果たす役割は大きなものとなっている。
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	授業や部活動の指導で忙しい中、教職員が常に最新の情報を入手して準備から設定、操作、トラブル対応までを行うことは非常に困難であり、学校から支援員の継続を望む声が多い。情報教育推進のために専門の担当者によるICT活用支援は不可欠である。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	就学援助事業(小学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 教育振興計画	II 郷土を愛し、次代を担う意欲ある人づくり 1 発達に応じた学びを育むまちづくり 2 児童生徒の学ぶ力を育むまちづくり	予算科目	10 教育費 2 小学校費 3 教育振興費

2. 事業の概要

事業目的	要保護・準要保護及び特別支援学級在籍児童の保護者(所得制限あり)に対し、就学に要する費用の援助を行い、当該児童の就学機会の確保を図る。
事業内容	学用品費、通学用品費、修学旅行費、校外活動費、給食費及び医療費等を支給し、就学を援助する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	11,533	補正額等		合計	11,533	決算額	11,516
-------	--------	------	--	----	--------	-----	--------

4. 事業の実施状況

(1) 要保護・準要保護児童就学援助費の支給	対象児童 : 177名	金額 10,271,067円
(2) 特別支援教育就学奨励費の支給	対象児童 : 41名	金額 1,244,850円

5. 事業の評価

<p>経済的理由によって就学が困難と認められる児童が増加しており、学用品など就学に必要な経費について支援する本事業の意義は大きなものとなっている。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>寒河江市における支給額の基準が国で定めた基準よりも低いため、基準額の見直しを図りながら、対象世帯の経済状況を的確に評価して適正な就学支援を実施していく。(H27予算 12,485千円)</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	就学援助事業(中学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	Ⅱ 郷土を愛し、次代を担う意欲ある人づくり	予算科目	10 教育費 3 中学校費 3 教育振興費
教育振興計画	1 発達に応じた学びを育むまちづくり 2 児童生徒の学ぶ力を育むまちづくり		

2. 事業の概要

事業目的	要保護・準要保護及び特別支援学級在籍生徒の保護者(所得制限あり)に対し、就学に要する費用の援助を行い、当該生徒の就学機会の確保を図る。
事業内容	学用品費、通学用品費、修学旅行費、校外活動費、給食費及び医療費等を支給し、就学を援助する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	9,291	補正額等		合計	9,291	決算額	9,073
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

(1) 要保護・準要保護生徒就学援助費の支給	対象生徒	: 97名	金額	8,645,634円
(2) 特別支援教育就学奨励費の支給	対象生徒	: 9名	金額	427,304円

5. 事業の評価

<p>経済的理由によって就学が困難と認められる生徒が増加しており、学用品など就学に必要な経費について支援する本事業の意義は大きなものとなっている。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>寒河江市における支給額の基準が国で定めた基準よりも低いため、基準額の見直しを図りながら、対象世帯の経済状況を的確に評価して適正な就学支援を実施していく。(H27予算 11,581千円)</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学校給食事業(小学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 教育振興計 画	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育むまちづくり 4 いのちと心を育む食育を推進するまちづくり	予算科目	10 教育費
		項	2 小学校費
		目	2 学校保健費

2. 事業の概要

事業目的	学校給食を実施することにより、児童の心身の健全な発達に資するとともに、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う。
事業内容	全小学校において自校調理方式による完全給食を実施する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	32,656	補正額等		合計	32,656	決算額	31,019
-------	--------	------	--	----	--------	-----	--------

4. 事業の実施状況

<p>(1) 自校調理方式による完全給食の実施</p> <p>① バランスのとれた食事を提供するとともに、栄養教諭及び学校栄養士が食と健康の保持増進などの指導を行い、食と栄養に関する正しい知識の普及や食事のマナー等を指導した。</p> <p>② 学校給食を通して、地域の産業・経済・伝統及び文化への関心を高めた。</p> <p>③ 小学校10校平均給食実施回数：190回</p> <p>④ 各種会議、研修会の開催 献立作成会議、調理師研修会(市内・市外)、給食主任会、調理師・給食主任合同研修会の開催</p> <p>⑤ 給食用食器、配膳台等の更新</p> <p>⑥ 放射性物質検査の実施</p> <p>(2) 給食調理業務民間委託の実施 西根小学校、柴橋小学校及び高松小学校で調理業務の民間委託を行い、民間活力の導入により経費の削減を図った。</p>

5. 事業の評価

<p>平成26年度から小中学校統一メニューを実施しており、9年間を見通した食育教育を行うことで発達に応じた細やかな指導を行うことができた。</p> <p>また、献立会議や研修会等を小中学校合同で実施したことにより、お互いの状況を把握することができ、より良い献立が作成された。更に、調理師の研修会等を充実させたことで、栄養バランスのとれたおいしい給食が安定して提供され、健康の保持増進や望ましい食習慣の形成、伝統的な食文化の理解に繋がった。</p> <p>調理業務を民間委託している小学校については、調理業務連絡調整会議を定期的に行い、市及び学校給食センターの調理師と交流することでより円滑な業務の遂行を図った。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>様々なアレルギーを持つ児童が増えており、これまで以上に衛生及び安全管理を徹底するとともに、充実した学校給食を常時提供できるようにしていく。また、食育推進のため、地産地消を念頭に入れながら、様々な郷土料理の提供にも力を入れていく。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学校給食事業(中学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系 (教育振興計画)	I 美しく豊かでたくましい心、元気な身体を育むまちづくり	予算科目	10 教育費
	4 いのちと心を育む食育を推進するまちづくり		3 中学校費
			2 学校保健費

2. 事業の概要

事業目的	中学校給食を実施することにより、成長期にある中学生に安全安心で栄養バランスのとれたおいしい食事を提供し心身の健全な発達に資するとともに、それを生きた教材として活用し食育の充実を図る。
事業内容	(1) 食材の調達に際しては、市内の納入事業、野菜生産者の組織化により安定供給および地産地消の推進を図る。 (2) 配膳業務を円滑に行うため、給食配膳員を配置し効率化を図る。 (3) バランスのとれた食事を提供するとともに、学校栄養士が食と健康保持の指導を行い、食と栄養に関する正しい知識の普及や食事のマナー等の指導を行う。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	177,595	補正額等	2,651	合計	180,246	決算額	176,222
-------	---------	------	-------	----	---------	-----	---------

4. 事業の実施状況

<p>中学校給食の調理・配送業務については民設民営による給食センター方式を採用し、市内の事業者と10年間の業務委託契約を締結している。</p> <p>食材については、JA及び市内の野菜生産組織と地場産野菜の供給協定を締結することで地産地消の推進が図られ、給食だよりで地場産野菜の提供情報を紹介することで、生徒に周知を図っている。</p>
--

5. 事業の評価

<p>(1) 小中学校統一メニューを実施することにより献立会議や研修会を通じて調理師や担当職員の交流が活発になり、新たな献立の作成に繋がっている。</p> <p>(2) JA及び市内の野菜生産組織との協定に基づく地場産野菜の供給については、給食用農産物に関する打合せ会議を定期的開催し、円滑な業務の遂行を図った。(地産地消の実施状況 県産野菜55.8%:寒河江産野菜40.5%) また、野菜生産者と中学生の交流給食を実施し生産者と触れ合うことで、地元農産物に対する理解と食に対する関心を深めて、おり、苦手な食材への挑戦も見られた。</p> <p>(3) 中学校給食運営委員会を年2回開催し様々な方面から意見してもらうとともに、生徒を対象としたアンケートを実施して寒河江らしさあふれるおいしい給食の提供に努めた。</p> <p>(4) 放射性物質検査を実施して食材の安全を確認した。</p> <p>(5) 食物アレルギー対応についての検討を重ね、学校給食における事故を未然に防止して安全安心な学校給食を行うため、マニュアル策定を行い、保護者との面談も入念に行った。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>様々なアレルギーを持つ生徒が増えており、これまで以上に衛生及び安全管理を徹底するとともに、充実した学校給食を常時提供できるようにしていく。また、食育推進のため、地産地消を念頭に入れながら、様々な郷土料理の提供にも力を入れていく。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	市史編纂事業	所管課・係	生涯学習課 歴史文化係
施策体系 教育振興計画	Ⅲ 歴史と文化を活かし、新たな文化を育む人づくり	予算科目	10 教育費
	1 歴史と伝統文化を活かしたまちづくり		4 社会教育費
			8 市史編さん費

2. 事業の概要

事業目的	市史編纂専門員を配置し、旧家に残る古文書等歴史資料の収集、調査を行い、寒河江市の歴史と文化を後世に伝えていく。
事業内容	古文書等郷土資料の収集、解読、研究及び「市史」の編纂、執筆並びに市史関係書籍等の編纂、発刊を行う。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	6,384	補正額等		合計	6,384	決算額	6,092
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>(1) 市史編纂委員会 2月17日 文化センター第2会議室 出席委員6名 発刊計画の策定等協議</p> <p>(2) 市史編集委員会 2月17日 文化センター第2会議室 出席委員4名 民俗・生活編の検討</p> <p>(3) 市史「民俗・生活編」の原稿執筆</p> <p>(4) 市史編纂叢書第83集「米沢村資料」、第84集「高津甚右衛門家関係資料」発刊</p> <p>(5) 郷土資料展の開催「昭和を撮る～高子勝伯の作品から～」6月24日～7月13日 会場:図書館ギャラリー</p> <p>(6) 市史編纂だよりの市報掲載 毎月5日号</p>

5. 事業の評価

<p>市史編纂事業の一環として市内の歴史文化資料の調査を行い、市史編纂叢書第83集「米沢村資料」、第84集「高津甚右衛門家資料」として発刊することができ、散逸・消失のおそれのある史料の保存・活用に繋がった。これらの書籍発刊や郷土資料展の開催により、市民の歴史文化への関心を深め、市の歴史を後世に伝えることができた。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>市内に残る貴重な古文書や歴史資料等の散逸・消失を防ぐため、今後とも現在の市史編纂専門員体制を維持していく必要がある。地域の歴史資料を調査研究し、郷土資料展などで研究成果を公表し、市民の歴史・文化学習に資していく。また今年度は、市史「民俗・生活編」を発刊する。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	文化財保護庶務事業	所管課・係	生涯学習課 歴史文化係
施策体系	Ⅲ 歴史と文化を活かし、新たな文化を育む人づくり 1 歴史と伝統文化を活かしたまちづくり	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 9 歴史文化費

2. 事業の概要

事業目的	文化財の保存及び活用を図り、市民の文化の向上に資する。
事業内容	(1) 文化財保護委員会の開催 (2) 文化財調査・天然記念物管理 (3) 文化財に対する啓発 (4) 国特別天然記念物カモシカの救出及び死体処理

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	302	補正額等	1,080	合計	1,382	決算額	1,261
-------	-----	------	-------	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>(1) 文化財保護委員会の開催(8月20日、中公第2研修室、委員8名)</p> <p>(2) 市有形文化財の指定(「銅造阿弥陀如来立像及両脇侍像」、「今井家太刀・短刀」2件)</p> <p>(3) 文化財調査(市指定候補、常林寺所有「木造十六羅漢像、長念寺所有「不動明王五智如来両部大日如来」ほか)</p> <p>(4) 白岩城学習会(現地視察)の実施(10月12日、参加者30名)</p> <p>(5) 慈恩寺国史跡指定記念 寒河江駅自由通路慈恩寺パネル展示(慈恩寺本堂、十二神将立像等)</p>
--

5. 事業の評価

<p>文化財保護委員会で、市指定文化財2件について指定審議を行い、市にとって重要な文化財であると認め、市指定の答申を行い保護を図った。</p> <p>白岩城については現地学習会を実施したが、地元白岩地区民を中心に多くの参加者があり、関心の高さが窺えた。</p> <p>また、慈恩寺国史跡指定の気運を盛り上げるため、寒河江駅自由通路及び階段に慈恩寺本堂や十二神将立像等のパネルを展示し、慈恩寺文化財の市民周知と観光振興を図った。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>指定文化財に繋がる歴史資料の調査を行い保護に繋げていくとともに、市民の文化財に対する関心を高めるため、引き続き学習会等を開催するなど、取り組みを充実させていく。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	埋蔵文化財調査事業	所管課・係	生涯学習課 歴史文化係
施策体系	Ⅲ 歴史と文化を活かし、新たな文化を育む人づくり	予算科目	10 教育費
教育振興計 画	1 歴史と伝統文化を活かしたまちづくり	項	4 社会教育費
		目	9 歴史文化費

2. 事業の概要

事業目的	埋蔵文化財の調査・保存を図るとともに、歴史と文化を尊び文化財に対する市民の意識の高揚を図る。
事業内容	文化財保護法に基づき市内遺跡の試掘調査等を行い、報告書を作成するとともに、「埋蔵文化財フェア」を開催する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	2,168	補正額等		合計	2,168	決算額	2,046
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>(1) 埋蔵文化財フェア「西村山のとおき考古資料展」 同時開催「安孫子春悦こけしコレクション 東北発伝統こけし展」 7月23日～8月12日 市美術館 期間中見学者422名</p> <p>(2) 同上講演会 7月27日 郡山女子短期大学准教授 会田容弘氏 「山形県の考古資料」 フローラさがえ 参加者30名</p> <p>(3) 慈恩寺上の寺遺跡発掘調査(国史跡指定関係) 11月27日～28日</p> <p>(4) 慈恩寺蓮池跡発掘調査(国史跡指定関係) 12月1日～2日</p> <p>(5) 白岩城新橋跡発掘調査 12月9日～11日</p> <p>(6) 寒河江城三の丸跡発掘調査 12月18日～19日</p>
--

5. 事業の評価

<p>国史跡指定関係の慈恩寺上の寺遺跡・蓮池跡の調査や寒河江城三の丸跡等の調査を実施し、国史跡指定の資料等及び市内開発との調整に資することができた。</p> <p>また、埋蔵文化財フェアでは、寒河江・西村山各地出土の考古資料を展示し、市民の考古・歴史学習に資した。多くの市民が見学に訪れ、寒河江・西村山の豊かな歴史に対する認識が高まり、市民に誇りと自信を付与する目的が達せられた。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	引き続き埋蔵文化財の発掘調査を行うとともに、遺跡の価値等について、市民に広く周知していく。また、慈恩寺関連の遺跡についても、慈恩寺文化の解明のため、今後も計画的に発掘調査を行っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	郷土館保存事業	所管課・係	生涯学習課 歴史文化係
施策体系	Ⅲ 歴史と文化を活かし、新たな文化を育む人づくり 1 歴史と伝統文化を活かしたまちづくり	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 9 歴史文化費

2. 事業の概要

事業目的	県指定有形文化財である旧西村山郡役所・郡会議事堂の保存を図るとともに、郷土の歴史資料展示施設として、市民の郷土学習活用を図る。
事業内容	(1) 郷土館の維持管理 (2) 郡制時代をテーマに資料館として一般開放 (3) 郷土館特別展「慈恩寺三カ院を巡る」の開催

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	1,968	補正額等		合計	1,968	決算額	1,949
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>(1) 県指定有形文化財である建物の維持管理 施設維持管理等業務委託(10件) 1,605,589円</p> <p>(2) 郷土館一般公開 4月12日～11月9日の土・日・祝日 (4月19日～6月1日桜・つつじ開花期間、10月1日～10月31日市制施行60周年記念事業期間) 入館者:2,261人 小学校郷土学習対応 6月17日高松小、9月19日寒河江中部小、10月22日南部小</p> <p>(3) 特別展「慈恩寺三カ院を巡る」の開催 9月19日～10月13日 郷土館2階大広間 入館者:402人</p> <p>(4) 同上記念講演 9月19日 講師:市史編纂専門員宇井啓氏 参加者:60名</p> <p>(5) 市制施行60周年記念事業「60年の思い出写真展」 10月1日～10月31日 郷土館1階郡長室 入館者:507名</p> <p>(6) 安孫子春悦氏こけしコレクション常設展示</p>

5. 事業の評価

<p>施設維持管理等の業務により、県指定有形文化財である建物の適正な維持管理に努めた。また、市史編纂専門員の歴史文化調査活動による特別展「慈恩寺三カ院を巡る」には多くの来館者を集め、慈恩寺の歴史文化の情報発信に寄与し、国史跡指定を盛り上げることができた。</p> <p>つつじ祭りや桜の開花期及び市制施行60周年記念事業の「60年の思い出写真展」開催時に開館日を拡充したことにより、多くの入館者があり、学習施設としてだけでなく、市民の憩いの施設としても活用が図られた。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	県指定有形文化財である建物の維持管理を適正に行うとともに、引き続き特別展・企画展等を開催し市民の生涯学習施設としての機能の充実を図っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	歴史文化ふるさと回帰事業	所管課・係	生涯学習課 歴史文化係
施策体系 教育振興計 画	Ⅲ 歴史と文化を活かし、新たな文化を育む人づくり 1 歴史と伝統文化を活かしたまちづくり	予算科目	10 教育費
			4 社会教育費
			9 歴史文化費

2. 事業の概要

事業目的	市民の地域の歴史等に係る活動や事業に対し支援し、市民の地域に対する愛着の醸成や他に誇れる地域づくりに資する。
事業内容	地域の歴史、伝統、文化、生活等に係る活動や事業に対して補助する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	800	補正額等		合計	800	決算額	800
-------	-----	------	--	----	-----	-----	-----

4. 事業の実施状況

市民団体による次の3つの事業に対して補助金を交付した。	
(1) 中郷田植踊り衣装整備事業	(補助金額 44,000円)
(2) 流鏝馬太鼓修理事業	(補助金額 47,000円)
(3) 「さがえ風土記Ⅱ」発刊事業	(補助金額 709,000円)

5. 事業の評価

市民の地域に対する愛着を育み、他に誇れる地域づくりに資するため、地域の歴史、伝統、文化、生活等に係る活動に関する3件の事業の応募があった。田植踊りの衣装整備や流鏝馬太鼓の修理により、伝統芸能の継承保存に繋がり、団体活動による継続的な地域活性化に繋がっている。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	市民の地域に対する愛着を広げ地域づくりに繋げていくため、引き続き支援していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	慈恩寺国史跡指定総合調査事業	所管課・係	生涯学習課 歴史文化係
施策体系 教育振興 計 画	Ⅲ 歴史と文化を活かし、新たな文化を育む人づくり	予算 科目	10 教育費
	1 歴史と伝統文化を活かしたまちづくり		4 社会教育費
			9 歴史文化費

2. 事業の概要

事業目的	慈恩寺国史跡指定を目指し、慈恩寺文化の価値の裏付けとなる調査に取り組み、さらに県内外に慈恩寺文化の発信に努めていくことを目的とする。
事業内容	(1) 慈恩寺国史跡指定推進委員会の開催 (4) 慈恩寺寺社建造物調査 (2) 慈恩寺講演会の開催 (5) 慈恩寺行事研究会の開催 (3) 慈恩寺文化財調査

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	2,400	補正額等		合計	2,400	決算額	2,308
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>(1) 慈恩寺国史跡指定推進委員会の開催 期日:3月20日 会場:慈恩寺活性化センター 内容:国史跡指定の報告及び解散について</p> <p>(2) 慈恩寺三カ院の公開 期間:9月27・28日 宝蔵院・華蔵院・最上院 参拝者1,868名</p> <p>(3) 慈恩寺国史跡指定記念講演会の開催 期日:10月26日 会場:ホテルサンチェリー 参加者:150名 内容:「史跡慈恩寺旧境内指定の意義」 講師:文化庁記念物課主任文化財調査官 佐藤正知氏</p> <p>(4) 慈恩寺行事研究会の開催 実施日:2月8日 会場:文化センター・中公ホール「中世の寺院について」 参加者:100名 講師:東京大学史料編纂所 菊地大樹氏</p> <p>(5) 慈恩寺堂社等建造物調査 期日:10月20日～3月31日 山形大学</p> <p>(6) 出羽国に華開いた仏教文化慈恩寺「悠久の魅力」発刊 300部</p> <p>(7) 慈恩寺文化財保存活用デジタル化調査委託</p> <p>(8) 事業広報紙「慈恩寺Times」の発刊</p> <p>(9) 慈恩寺地域植生調査</p> <p>(10) 慈恩寺最上院日記調査</p>
--

5. 事業の評価

<p>平成23年度から市の重点プロジェクトとして取り組んできた慈恩寺国史跡指定について、10月6日付官報により「慈恩寺旧境内」の国史跡指定が実現した。</p> <p>史跡指定を記念して行った講演会には、文化庁記念物課主任文化財調査官の佐藤正知氏を招き、「史跡慈恩寺旧境内指定の意義」と題して、史跡慈恩寺旧境内の価値や今後の保存・活用の方向性についての講演を受けた。多数の参加者があり、慈恩寺の理解を深めることに役立った。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>慈恩寺が国史跡指定を受けた後においても、史跡の保存活用計画や整備計画を策定する上で、引き続き調査研究が求められている。また、慈恩寺「悠久の魅力」向上基本計画が策定されたこともあり、それらとの整合性を図りながら史跡指定地内の慈恩寺文化財の保存・活用について事業を遂行していく。(H27予算 4,300千円)</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	教育委員会事務局管理事業	所管課・係	学校教育課 教育総務係
施策体系	V 開かれた教育行政の推進 1 教育行政に対する関心、意識の高揚	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 2 事務局費

2. 事業の概要

事業目的	教育委員会事務局(学校教育課)の総務一般に関する事務を処理する。
事業内容	(1) 教育委員会規則等の制定及び改廃に関する事務 (2) 教育功労、叙勲等に関する事務 (3) 教育委員会の事務事業の点検・評価に関する事務 (4) 学校基本調査等各種調査に関する事務 (5) その他学校教育課内の庶務に関する事務

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	3,362	補正額等		合計	3,362	決算額	2,995
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<p>(1) 教育委員会規則等の制定及び改廃については、総務課法制担当と協議しながら調整し、教育委員会の議決を経て公布した。 ・規則及び規程の制定又は改正 5件</p> <p>(2) 教育功労、叙位叙勲に関する処理実績 ・高齢者叙勲 1件 ・死亡叙位叙勲 2件 ・生存者叙勲 1件</p> <p>(3) 教育委員会が執行した事務事業(平成25年度分)の点検・評価について、その評価方法の一部見直しを行いながら実施し、その結果に関する報告書を市議会に提出するとともに、市ホームページ等において公表した。</p> <p>(4) 学校基本調査、地方教育費調査、学校施設台帳作成等各種調査事務を執行した。</p> <p>(5) 平成25年度末で市内の小中学校を最終勤務地として退職した教職員5名に対し、市長より感謝状を贈呈した。</p>
--

5. 事業の評価

<p>(1) 教育委員会規則の改正等、教育功労・叙位叙勲の処理、各種調査事務その他課内の庶務に関する事務については総じて適切に処理している。また、法改正に伴う新たな教育委員会制度についても適切な対応を行った。</p> <p>(2) 教育事務の点検・評価について、外部評価委員が直接事務担当者からヒアリングすることにより、より適切な意見をいただくことができた。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	教育等の振興に関する大綱の制定や平成28年度からの第2次寒河江市教育振興計画策定について検討を進めていく。 今後とも事務の適切な処理に努めるとともに、教育事務の点検・評価については、さらにその方法に創意工夫を重ねながら施策への反映を図っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	小学校管理事業	所管課・係	学校教育課 教育総務係
施策体系	V 開かれた教育行政の推進 2 教育環境の充実・整備	予算科目	10 教育費 2 小学校費 1 学校管理費

2. 事業の概要

事業目的	小学校児童の教育環境の充実と安全安心な学校づくりを推進するため、小学校施設・設備の整備を行う。
事業内容	(1) 小学校施設・設備の整備、営繕及び維持管理 (2) 小学校の給食調理室に空調設備を設置

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	230,274	補正額等	9,700	合計	239,974	決算額	217,370
(備考) 補正額等の内訳 補正 9,700							

4. 事業の実施状況

<p>校舎、体育館、水泳プール、グラウンド等の施設・設備の適正な管理と効率的な使用を図るため、当該施設設備の整備、営繕及び維持管理を実施した。</p> <p>① 施設・設備の保守等のための業務委託 ・FF暖房機点火試験・点検清掃業務委託 外52件</p> <p>② 施設・設備の修繕 ・南部小学校小荷物専用昇降機メインワイヤー摩耗交換修理 外121件</p> <p>③ 施設の整備 ・小学校給食室空調設備整備工事 外45件 ・南部小学校児童農園(ピオトープ)用地購入・環境整備</p> <p>④ 施設の運営 ・各学校に施設の運営経費に係る予算を配当し、予算の効率的な執行を行うとともに教育環境の整備に万全を期した。</p> <p>⑤ 管理用備品の整備 ・児童用机のA判化への更新や椅子等を整備した。</p>

5. 事業の評価

<p>(1) 夏の猛暑により、高温多湿の劣悪な労働環境となっている給食調理室に空調設備を整備することにより、労働環境の改善と健康維持が図られた。</p> <p>(2) 南部小学校が賃貸借により児童農園(ピオトープ)として利用している土地を購入することで、将来的にも学習の場としての活用を図った。</p> <p>(3) 児童用机A判化更新(1年生)を実施し、学習環境の改善に資した。机A判化更新事業が全学年において完了した。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>施設・設備は老朽化してきており、修繕等の必要な箇所が多くなってきているが、その緊急性や必要性を考慮しながら、計画的に整備・改修を推進していく。また、文科省が推進する体育館照明設備等の落下防止対策を講じていく。さらに、トイレの洋式化については計画的に整備しており、今後、給食調理従事者用トイレの洋式化を進め、適正な衛生管理に努めていく。(H27予算 126,803千円)</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	中学校管理事業	所管課・係	学校教育課 教育総務係
施策体系	V 開かれた教育行政の推進 2 教育環境の充実・整備	予算科目	10 教育費 3 中学校費 1 学校管理費
教育振興計画			

2. 事業の概要

事業目的	中学校生徒の教育環境の充実と安全安心な学校づくりを推進するため、中学校施設・設備の整備を行う。
事業内容	(1) 中学校施設・設備の整備、営繕及び維持管理

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	65,657	補正額等	5,366	合計	71,023	決算額	64,226
(備考) 補正額等の内訳 補正 5,366							

4. 事業の実施状況

<p>校舎、体育館、水泳プール、グラウンド等の施設・設備の適正な管理と効率的な使用を図るため、当該施設設備の整備、営繕及び維持管理を実施した。</p> <p>① 施設・設備の保守等のための業務委託 ・自家用電気工作物保安管理業務委託 外32件</p> <p>② 施設・設備の修繕 ・陵東中学校、陵西中学校校舎雨漏れ修理 外54件</p> <p>③ 施設の整備 ・トイレ洋式化改修工事 外14件</p> <p>④ 施設の運営 ・各学校に施設の運営経費に係る予算を配当し、予算の効率的な執行を行うとともに教育環境の整備に万全を期した。</p> <p>⑤ 管理用備品の整備 ・生徒用機のA判化への更新や椅子等を整備した。</p>

5. 事業の評価

<p>(1) 生徒用机A判化更新(1~3年生)を実施し、学習環境の改善に資した。机A判化更新事業が全学年において完了した。</p> <p>(2) トイレ洋式化については、当初計画に加え補正予算での追加工事を実施するなど、整備促進が図られた。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>施設・設備は老朽化してきており、修繕等の必要な箇所が多くなってきているが、その緊急性や必要性を考慮しながら、計画的に整備・改修を推進していく。また、文科省が推進する体育館照明設備等の落下防止対策を講じていく。さらに、夏季の暑さにより、学習面で非常に過酷な環境となっている普通教室等への空調設備の設置を検討していく。(H27予算 83,920千円)</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学校保健事業(小学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	V 開かれた教育行政の推進	予算科目	10 教育費
教育振興計 画	2 教育環境の充実・整備		2 小学校費
			2 学校保健費

2. 事業の概要

事業目的	児童及び教職員の健康管理、学習環境の適正維持を図る。
事業内容	児童及び教職員の健康保持管理のため各種検診を実施するとともに、適切な学習環境を維持するため、保健用備品、消耗品等の整備、日常検査及び定期検査等を行う。 また、災害共済給付制度、学校災害賠償補償保険に加入し、学校管理下での事故等に備える。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	18,305	補正額等		合計	18,305	決算額	17,854
-------	--------	------	--	----	--------	-----	--------

4. 事業の実施状況

(1) 児童検診	
① 身体計測・内科・眼科・歯科各検診	2,361名
② 耳鼻科検診	1,774名
③ 心電図検査	383名
④ ぎょう虫卵検査	1,136名
⑤ 尿検査	2,361名
⑥ 貧血検査	410名
(2) 教職員検診	
① 一般検診	163名(89.1%)
② 大腸がん(40歳以上希望)	112名(69.6%)
③ 胃がん(40歳以上)	116名(72.0%)
※ 受診人数後の()内は受診率であり、100%に満たないのは、教職員共済組合等のドック受診者、継続受診(治療中)等を除いているためである。	
(3) 環境衛生検査(飲料水、プール水、照度、ダニアレルゲン)	
(4) ① 災害共済給付	176件 1,045,748円
② 学校災害賠償補償保険金	1件 10,000円

5. 事業の評価

児童及び教職員の健康増進と適切な学習環境の向上を推進するため、学校保健安全法等に定める各種検診及び法令等に基づいた環境衛生検査を実施した。 学校管理下での事故に対応した災害共済給付金の対象件数は増加しており、学校安全計画に基づきながら指導の徹底を図っていく。
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	重篤な事故には至っていないが、学校管理下での事故に対応した災害共済給付金の対象件数が増加しているため、「学校安全計画」を徹底し、学校管理下での事故を削減できるよう安全に関する指導を徹底して行っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学校保健事業(中学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	V 開かれた教育行政の推進 2 教育環境の充実・整備	予算科目	10 教育費 3 中学校費 2 学校保健費

2. 事業の概要

事業目的	生徒及び教職員の健康管理、学習環境の適正維持を図る。
事業内容	生徒及び教職員の健康管理増進のため各種検診を実施するとともに、適切な学習環境を維持するため、保健用備品、消耗品等の整備、日常検査及び定期検査等を行う。 また、災害共済給付制度、学校災害賠償補償保険に加入し、学校管理下での事故等に備える。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	8,516	補正額等		合計	8,516	決算額	8,135
-------	-------	------	--	----	-------	-----	-------

(1) 児童検診			
① 身体計測・内科・眼科・歯科各検診	1,252名	⑤ 尿検査	1,252名
② 耳鼻科検診	612名	⑥ 貧血検査	1,103名
③ 心電図検査	410名		
(2) 教職員検診			
① 一般検診	82名(90.1%)		
② 大腸がん(40歳以上希望)	48名(72.7%)		
③ 胃がん(40歳以上)	53名(80.3%)		
※ 受診人数後の()内は受診率であり、100%に満たないのは、教職員共済組合等のドック受診者、継続受診(治療中)等を除いているためである。			
(3) 環境衛生検査(飲料水、プール水、照度、ダニアレルゲン)			
(4) ① 災害共済給付	306件 2,338,052円		
② 学校災害賠償補償給付金	6件 80,000円		

5. 事業の評価

生徒及び教職員の健康増進と適切な学習環境の向上を推進するため、学校保健安全法等に定める各種検診及び法令等に基づいた環境衛生検査を実施した。 学校管理下での事故に対応した災害共済給付金の対象件数は減少しているが、今後も学校安全計画に基づきながら指導の徹底を図っていく。
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	学校管理下での事故に対応した災害共済給付金の対象件数は減少しているが1件当たりの給付金額は増加しているため、「学校安全計画」を徹底し学校管理下での事故を削減できるよう安全に関する指導を徹底して行っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	教育振興事業(小学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	V 開かれた教育行政の推進 2 教育環境の充実・整備	予算科目	10: 教育費 2: 小学校費 3: 教育振興費

2. 事業の概要

事業目的	学習教材等の計画的な整備を進め、教育環境の充実を図る。
事業内容	学習活動に必要な教材教具、理科備品、図書の整備を行い、児童の適切な学習環境の整備を図る。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	13,872	補正額等		合計	13,872	決算額	13,425
-------	--------	------	--	----	--------	-----	--------

4. 事業の実施状況

学習指導要領等に基づき、教材教具、理科備品の整備、図書等の整備を行い、学習環境の整備充実に努めた。	
(1) 教材教具、図書等一般事業	12,217 千円
(2) 理科教育振興設備整備事業	1,208 千円

5. 事業の評価

学習指導要領に基づき、教材教具、理科備品、図書の整備を行ったが、理科備品や楽器などの高額備品については一括購入を行うことで効果的な整備をすることができた。特に理科備品については、各校の整備率を基にした年次計画に従い、整備率の低い学校を重点的に整備を進めた。
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	理科備品及び図書の整備については整備率の低い学校を重点的に年次計画により整備を進めていく。教材教具の整備については各校の要望を精査し、一括購入するなどして効果的な整備を進めていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	教育振興事業(中学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	V 開かれた教育行政の推進 2 教育環境の充実・整備	予算科目	10 教育費 3 中学校費 3 教育振興費

2. 事業の概要

事業目的	学習教材等の計画的な整備を進め、教育環境の充実を図る。
事業内容	学習活動に必要な教材教具、理科備品、図書の整備を行い、生徒の適切な学習環境の整備を図る。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	10,110	補正額等	86	合計	10,196	決算額	10,094
-------	--------	------	----	----	--------	-----	--------

4. 事業の実施状況

<p>学習指導要領に基づき、教材教具、理科備品の整備、図書等の整備を行い、学習環境の整備充実に努めた。</p> <p>(1) 教材教具、図書等一般事業 9,509 千円</p> <p>(2) 理科教育振興設備整備事業 585 千円</p>

5. 事業の評価

<p>学習指導要領に基づき、教材教具、理科備品、図書の整備を行ったが、理科備品や楽器などの高額備品については一括購入を行うことで効果的な整備をすることができた。特に理科備品については、各校の整備率を基にした年次計画に従い、整備率の低い学校を重点的に整備を進めた。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>理科備品及び図書の整備については整備率の低い学校を重点的に年次計画により整備を進めていく。教材教具の整備については各校の要望を精査し、一括購入するなどして効果的な整備を進めていく。</p>

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	情報教育推進事業(小学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	V 開かれた教育行政の推進 2 教育環境の充実・整備	予算科目	10 教育費 2 小学校費 3 教育振興費

2. 事業の概要

事業目的	情報機器やネットワーク機能の活用指導を通じて、情報化社会に対応できる人材の育成を図る。
事業内容	小学校における情報教育を円滑に行うことができるよう、パソコン機器や電子黒板の整備、充実を図る。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	18,194	補正額等	△226	合計	17,968	決算額	16,523
-------	--------	------	------	----	--------	-----	--------

4. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・小学校のパソコン機器のリース契約を継続し、新たに3校のリース契約を更新した。 平成26年度パソコンリース契約更新台数 ※高松小29台・醍醐小18台・三泉小17台 ・電子黒板機器が導入されていない小学校8校へ新たにリース契約を行った。 ※寒河江小4台・寒河江中部小3台・南部小3台・西根小3台・醍醐小1台・白岩小1台・幸生小1台・三泉小1台

5. 事業の評価

<p>全小学校のパソコン機器のリース契約を継続又は更新して計画的に情報環境を整備しながら、機器の有効で安全な活用のための情報教育を進めている。 平成26年度は、電子黒板機器が導入されていない8校にリース契約を行い情報教育の充実を図った。</p>
--

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	学校各階に1台の電子黒板機器の導入を行い、情報教育の推進を図っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	情報教育推進事業(中学校)	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	V 開かれた教育行政の推進 2 教育環境の充実・整備	予算科目	10: 教育費 3: 中学校費 3: 教育振興費

2. 事業の概要

事業目的	情報機器やネットワーク機能の活用指導を通じて、情報化社会に対応できる人材の育成を図る。
事業内容	中学校における情報教育を円滑に行うことができるよう、パソコン機器や電子黒板の整備、充実を図る。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	7,292	補正額等	△250	合計	7,042	決算額	6,787
-------	-------	------	------	----	-------	-----	-------

4. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・中学校のパソコン機器のリース契約を継続し、新たに1校のリース契約を更新した。 平成26年度パソコンリース契約更新台数 ※陵南中37台

5. 事業の評価

全中学校のパソコン機器等のリース契約を継続又は更新して計画的に情報環境を整備しながら、機器の有効で安全な活用のための情報教育を進めている。

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	パソコン機器のリース契約の更新及び陵東中、陵南中には各階2台、陵西中には各階に1台を目途に電子黒板機器の導入を行い、情報教育の推進を図っていく。(H27予算 8,332千円)

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	スクールバス運行事業	所管課・係	学校教育課 学事係
施策体系	V 開かれた学校づくり 2 教育環境の充実・整備	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育指導援助費

2. 事業の概要

事業目的	陵西中学校に在籍する幸生・田代地区の生徒の通学を支援し、就学機会の確保する。
事業内容	スクールバスの運行业務を市内タクシー会社に委託し、幸生・田代地区の生徒の送迎を行う。 また、白岩小学校に通学する田代地区の児童及びしらいわ保育所に通園する幸生・田代地区の幼児の送迎を行うとともに、小中学校の校外活動及び陵西中学校の部活動の交通手段にも活用する。

3. 予算額・決算額

(単位:千円 千円未満切上げ)

当初予算額	5530	補正額等		合計	5530	決算額	5,139
-------	------	------	--	----	------	-----	-------

4. 事業の実施状況

(1) 利用者	陵西中学校 8名 (幸生地区 4名・田代地区 4名) 白岩小学校 12名 (田代地区 12名) しらいわ保育所 7名 (幸生地区 7名)
(2) 運行状況	陵西中学校・白岩小学校及びしらいわ保育所への送迎 (延べ427日) 自然の家での体験学習や公共施設の見学学習など校外活動等の利用 (延べ105日) 陵西中学校の部活動等での利用 (延べ39日)

5. 事業の評価

<p>スクールバス運行時間が陵西中学校の部活動終了時間と合わず利用者が減少したため、学校及びタクシー会社と協議した結果、運行時間が変更されて利用者が増加した。</p> <p>また、各小中学校からの校外学習活動や部活動に関する利用拡大ニーズが増えており、それに対して可能な限り対応するとともに、宮内・上野地区の生徒の冬期間送迎にも活用するなど効果的な運用を図った。</p>

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	各小中学校からの校外学習活動等に関する利用の要望や緊急時における利用の願望(小学校における熊の出没時等)が年々増加しているが可能な限り対応するとともに、事故のないようタクシー会社に徹底して指導を行う。

寒河江市振興計画 重点プロジェクト事業

事業名	「さがえっこ育みアクションプラン」の 策定・推進
-----	-----------------------------

事業推進 関係課	学校教育課
	生涯学習課
	子育て推進課

市重点プロジェクト	(1) 「さがえっこ」すくすくプロジェクト
-----------	-----------------------

事業の目的	学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしながら互いに連携し、生活リズムの確立や道徳心の向上、学力の向上、読書活動・食育の充実など、子どもたちの生きる力を育むための取組「さがえっこ育みアクションプラン」を、市民全体で推進する。
関係事業とその概要	<ul style="list-style-type: none"> ○さがえっこ育みアクションプラン推進事業(推進本部の設置、学校支援地域本部事業の実施) ※ P32参照 ○いのちと心を育む学校づくり支援事業(各学校における具体的取組の展開) ※ P33参照 ○読書の盛んな学校づくり事業(各学校の読書活動推進のための読書活動推進員の配置) ※ P25参照 ○社会教育活動事業(小学校を会場とした「子育て講座」の実施) ※ P20参照 ○学級講座開設事業(幼稚園・保育所等を会場とした「家庭教育講座」の実施) ※ P14参照 ○読書普及事業(「ブックスタート事業」の実施) ※ P28参照
事業の実施状況	<p>【推進本部の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年3回の会議を開催し、推進方策を検討 ・取組の指針となる「さがえっこの育み10か条」の啓発のためにリーフレットを6,000部作成し、市内の全小中学校、幼稚園・保育所を通して保護者に配布 <p>【学校における取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いのちと心を育む学校づくり…各小中学校で、家庭・地域と連携した特色ある取組を実施 ・読書の盛んな学校づくり…読書活動推進員5名を配置し、各学校で計画的に活用 <p>【地域の教育力向上の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援地域本部…小中学校13校に「学校支援地域本部」を設置し、学校支援ボランティア活動を展開 学校支援ボランティアの総数 2,059人 (24年度：1,623人、25年度：1,9701人) <p>【家庭の教育力向上の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て講座…小中学校11校で実施 参加者：1,176人 ・幼児共育ふれあい広場…保育所など7か所で実施 参加者：400人 ・家庭教育講座…幼稚園、保育所、で実施 参加者：1,218人 ・ブックスタート事業…3か月健診時に、本とのかかわりについて、母親を対象に実施

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
今後の対応等	推進本部による事業の啓発(各種広報活動、フォーラムの開催等) ※28年度以降見直し		
	「いのちと心を育む学校づくり」の実施(各学校における取組の重点化と、家庭・地域との連携の推進)		
	読書活動推進員の配置150による学校読書の推進		
	地域コーディネーターの配置の拡大		
	「子育て講座」・「家庭教育講座」の実施		
	「ブックスタート事業」の実施		
	<p>実施4年目として、「さがえっこの育み10か条」をリーフレット配布等により周知・啓発を図るとともに、昨年度に引き続いて今年度も、市内すべての小中学校・幼稚園・保育所等で「あいさつ」「読書」「生活リズム・食育」の3つを重点項目と定め、家庭や地域を巻き込みながら市全体で取組を行った。市内全小中学生の朝食摂取率が94.9%(26年度)と高い数値を示すなど、子どもたちの生活の土台が安定することが、生活全体の向上につながっている。</p> <p>市振興計画における市民100人委員会の評価を見ると、5段階で、「現状の満足度=3.70(昨年度:3.48)」、「今後の重要性=3.88(昨年度:3.83)」となっている。すべての市民に「学校・家庭・地域が連携して子どもたちを育む」との重要性を認識していただくことが本事業の目的であり、今後、「さがえっこ育みフォーラム」の開催等、効果的な周知・啓発を行っていくとともに、本部での重点を決めた取組の実施により、最終年度となる27年度は、より多くの市民から重要度の高い事業としての認識がさらに得られるよう、推進していく必要がある。</p>		

平成 27 年 9 月

寒河江市教育委員会

	学 校 教 育 課	生 涯 学 習 課
所 在	〒991-8601 山形県寒河江市中央一丁目 9 番 45 号	〒991-0003 山形県寒河江市大字西根字石川西 333
T E L	0237-86-2111 (代表)	0237-86-5111
F A X	0237-86-8691	0237-86-2201
Email	kyouikuka@city.sagae.yamagata.jp	shogaku@city.sagae.yamagata.jp
